

令和6年度
事業報告書

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

目 次

I	事業総括	1
II	事業実施内容	
1	多様な主体の参加と協働による地域づくりの推進	1
(1)	福祉教育とボランティア・市民活動の推進	1
(2)	多様な主体による地域福祉の推進と包括的な支援体制の整備	6
(3)	高齢者の健康、生きがいくりと社会参加の推進	13
2	市町村社協、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の支援と組織強化	16
(1)	市町村社協の支援と組織強化	16
(2)	民生委員・児童委員の支援と組織強化	17
(3)	社会福祉法人・福祉施設等の支援と組織強化	19
3	生活困窮者等の自立支援と権利擁護の推進	20
(1)	生活困窮者等の自立支援	20
(2)	高齢者、障がい者等の権利擁護の推進	26
(3)	福祉サービスの適切な運営に向けた取組の推進	38
4	良質な福祉サービスを提供する基盤づくりの推進	41
(1)	福祉人材の確保	41
(2)	福祉人材の育成と福祉サービスの質の向上	52
5	災害時における福祉支援の充実	62
(1)	災害に備えた福祉支援体制の整備	62
(2)	災害時における福祉支援活動の推進	66
6	宮崎県社会福祉協議会の基盤強化	67
(1)	組織基盤の強化	67
(2)	財政基盤の強化	72

I 事業総括

本県においては、急速な少子高齢化や人口減少、地域におけるつながりの希薄化等を背景に、社会的孤立や引きこもり、虐待、生活困窮といった複合的な地域生活課題がますます複雑化・多様化しています。

また、県民の福祉サービスに対する需要の増大・多様化が見込まれるとともに、利用者本位の質の高いサービスの提供が求められる中で、多様な福祉ニーズに対応できる人材の確保が喫緊の課題となっています。

このような中、国においては、「地域共生社会」の実現に向けた取組が進められており、地域福祉の中核を担う社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等が果たすべき役割は、ますます重要になっています。

このような認識のもと、本会は「第6次宮崎県社会福祉協議会活動推進計画（令和6年度～令和10年度）」に掲げる「つながり、支え合うみやざきの地域共生社会づくり」の実現に向け、市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、行政をはじめとする多様な関係機関・団体等と連携・協働しながら、以下の事業を実施しました。

II 事業実施内容

1 多様な主体の参加と協働による地域づくりの推進

(1) 福祉教育とボランティア・市民活動の推進

福祉教育・ボランティア学習の普及啓発と取組の活性化を図るため、福祉教育推進事業や地域における福祉教育推進研修会を行うとともに、福祉教育担当者連絡会議を開催し、市町村社協福祉教育担当者の資質向上と社協間のネットワークの強化を図りました。

また、市町村ボランティアセンター活動支援事業等を行い、市町村ボランティアセンターの基盤整備や生活支援活動への取組を支援するとともに、地域課題の解決に向けて、多様な機関・団体等が連携した取組の活性化を図るため、課題解決実践・協働事業を実施しました。

《実施事業》

ア 福祉教育推進事業

「福祉教育推進員研修（全社協主催）」を修了した社協職員を中心に組織した「福祉教育推進チーム」において、各市町村社協における地域の実情に応じた福祉教育実践の展開とともに、学校をはじめ、地域の関係者等が地域共生社会への理解を深め、地域を基盤とした福祉教育を展開するために、福祉教育推進研修会及び福祉教育担当者連絡会議のプログラム検討等を行いました。

(ア) 福祉教育推進チームにおける福祉教育実践についての検討

【1回目】

- | | | |
|-----|---|-------------------------------|
| a 期 | 日 | 6月3日（月） |
| b 場 | 所 | 宮崎県福祉総合センター 本館3階 共用会議室 |
| c 内 | 容 | 今年度の事業内容について
福祉教育推進研修会について |

【2回目】

- | | | |
|-----|---|----------|
| a 期 | 日 | 9月27日（金） |
|-----|---|----------|

- b 方 法 Web 会議
- c 内 容 第 1 回福祉教育担当者連絡会議の振り返り

【3回目】

- a 期 日 11月15日（金）
- b 方 法 Web 会議
- c 内 容 第 2 回福祉教育担当者連絡会議の内容について

【4回目】

- a 期 日 2月18日（火）
- b 方 法 Web 会議
- c 内 容 第 2 回福祉教育担当者連絡会議について

イ 福祉教育推進研修会

【1回目】

- (ア) 期 日 8月8日（木）
- (イ) 場 所 椎葉村開発センター 講堂
- (ウ) 参加者数 22名（教員、民生委員児童委員、市町村社協職員等）
- (エ) 内 容
 - a 講義「地域で共に育む福祉教育～こころを動かす協同実践～」
講師 日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏
 - b 事例発表『『共に生きるチカラ』を育む地域福祉活動実践』
発表者 日向市社会福祉協議会 地域福祉課 主事 加藤 正憲 氏
 - c ワークショップ
ファシリテーター
日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏

【2回目】

- (ア) 期 日 8月9日（金）
- (イ) 場 所 西都市地域福祉センター 集会室
- (ウ) 参加者数 26名（教員、民生委員児童委員、市町村社協職員等）
- (エ) 内 容
 - a 講義「地域で共に育む福祉教育～こころを動かす協同実践～」
講師 日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏
 - b 事例発表「協同をとおした地域人育成」
発表者 木城町社会福祉協議会 総務係長 西村 拓 氏
 - c ワークショップ
ファシリテーター
日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏

ウ 福祉教育担当者連絡会議

【第1回】

- (ア) 期 日 9月27日（金）
- (イ) 方 法 Web 会議
- (ウ) 参加者数 24名
- (エ) 内 容

- a 令和5年度福祉教育担当者連絡会議の振り返り
- b 意見交換

【第2回】

- (ア) 期 日 3月7日(金)
- (イ) 場 所 木城町総合交流センターリバリス 大会議室
- (ウ) 参加者数 24名
- (エ) 内 容
 - a 講義「福祉教育のめざすものと価値」
講師 日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏
 - b 福祉教育推進チームとの意見交換
アドバイザー
日本福祉大学 社会福祉学部 准教授 小林 洋司 氏
ファシリテーター 福祉教育推進チーム委員

エ 市町村ボランティアセンター運営体制支援事業

- (ア) 市町村ボランティア活動調査及び市町村ボランティアセンター基礎調査の実施
 - a 市町村ボランティア活動基礎調査
調査日 6月1日現在
調査結果概要
 - 登録団体数 1,943団体(前年比22団体増)
 - 団体登録者数 111,781人(前年比2,378人増)
 - 個人登録者数 4,318人(前年比45人増)
 - 全登録者数 116,099人(前年比2,423人増)
 - b 市町村ボランティアセンター基礎調査
職員体制(令和6年4月1日現在の状況)
令和5年度事業実績
- (イ) 「市町村ボランティアセンター強化方策」の普及と活用の促進
各市町村社協に対し、「市町村ボランティアセンター強化方策」に関係する情報提供を行うとともに、市町村ボランティアセンター等活動支援事業の実施計画作成にあたって強化方策を活用してもらう等、市町村ボランティアセンター事業の推進を図りました。

オ 市町村ボランティアセンター等活動支援事業

- (ア) 市町村ボランティアセンター活動支援事業
宮崎県ボランティアセンターの掲げる基本方針に基づき、地域の実情に応じたボランティア活動事業を行うため、市町村社協が作成した市町村ボランティアセンター活動支援事業助成実施計画に基づく事業に助成金を交付することにより、県内におけるボランティア活動の促進を図りました。
 - a 交付先 市町村ボランティアセンター 26か所
 - b 交付総額 13,964,000円
 - c 配分方法
基本交付額 13,000,000円
交付総額のうち、92.9%を基本交付額として配分

人口割 46.45% (6,500,000円)
均等割 46.45% (6,500,000円)
調整交付額 964,000円

交付総額のうち、7.1%を調整交付額として配分

基本交付額の事業とは別に、県ボランティアセンターが示す事業*を実施する場合に調整交付額の配分を行う。

*子どもや地域住民等を対象とした地域貢献学習（サービスマーケティングやボランティア活動）や、福祉教育の協働実践のための体制づくり（協力者や支援者の確保、プログラムづくりのコーディネート等）など、福祉教育の発展的な取組に資する事業

*災害時を見据えた地域の見守り・支え合いの体制構築や、災害ボランティアセンターの運営者を確保・育成するなど、被災者支援・災害時の支援体制づくりに資する事業

*社会的孤立や生活困窮等、公的な制度では対応できない地域住民の「ニーズ」に対するインフォーマルな活動の仕組みづくりや、ボランティア・企業等の協力者を確保・育成するなど、市町村の包括的な支援体制の構築に資する事業

※基本交付額を上回る事業実施を計画した小林市、日向市、三股町の各ボランティアセンターへ内容を審査後配分

(イ) 課題解決実践・協働事業

地域福祉コーディネーターと連携しながら、地域において制度の狭間にある課題等の解決に向けて、多様な機関・団体等が連携して取り組む事業に助成することにより、その取組の活性化を図りました。

a 助成先 2団体

b 交付額 200,000円（各100,000円）

<山田地区社会福祉協議会（都城市）>

- ・連携体制 山田地区各小・中学校、山田ボランティア連絡協議会、食の支援グループ、子ども宅食ボランティアグループすまいるハート、山田町商工会、企業、民生委員児童委員、自治公民館連協、高齢者福祉施設、NPO法人、個人ボランティア 等
- ・事業内容 古民家「ヒサヨさんち」を活用した学習支援や食の支援の実施、ITschool（スマホ等の正しい活用方法など）や広報誌作成、モノづくりの実施 等

<NPO法人あなたのまち応援団（都城市）>

- ・連携体制 社会福祉法人あじさいの里、NPO法人山田りんどう福祉会、都城市障がい者（児）基幹相談支援センター 等
- ・事業内容 ピアサポート活動とピアの雇用の創出を目指し、運営委員会の設立及び協働事業所とのインターンシップ、交流会の実施等

カ NPO・ボランティア活動情報発信事業

(ア) ホームページ「ぶーら・ボ〜ラ」及びFacebookを活用した情報発信

本県におけるボランティア活動活性化及び県内ボランティア活動の積極的な情報公開のため、ホームページ「ぶーら・ボ〜ラ」による情報発信を行いました。特設ページ「Buravola CIRCLE 活動」では、交流集会やBranch Meetingの情報

等だけでなく、企業の社会貢献活動等、実践事例の取組情報も発信しました。

また、ボランティア活動及び災害時の情報発信ツールとして Facebook を活用しました。

(イ) ボランティアマスコットキャラクター「ボラみん」の活用

a 着ぐるみの貸出し 5件

キ ボランティア体験月間事業

7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として提唱し、市町村ボランティアセンターやボランティア団体等と協働したボランティア体験事業を県下一斉に実施することにより、県民のボランティア活動へのきっかけづくりや参加促進を図りました。

(ア) ボランティア体験事業数 59本

(イ) 参加者数 2,851名

(ウ) 体験プログラム協力者 697名

(エ) ボランティア体験事業の広報

a ハンドタオル作成、配布 1,650枚/市町村社協

b 新聞、雑誌への広告

宮崎日日新聞広告ぽけっと 月4回×2か月(7,8月)

宮崎日日新聞生活情報誌きゅんと 8月号

エフエム宮崎「Today みやざき」 9月16日(月)～22日(日)

ク 宮崎県ボランティアセンター運営事業

(ア) 宮崎県ボランティアセンターの運営基盤整備

宮崎県ボランティアセンターの拠点及び運営体制の整備を図り、本県のボランティア活動の振興を図るとともに、県民及び関係機関がボランティアについて相談できる拠点を設置しました。

(イ) ボランティア・市民活動への問合せや相談への対応

a ボランティアに関する相談件数 27件

(ウ) 活動機材の貸出し

a 映像機材等 3件

b 高齢者疑似体験グッズ 3件

c ロッカー 利用：18個/36個中

d メールボックス 利用：22個/40個中

(エ) 宮崎県ボランティアセンター事業検討委員会

a 期 日 12月19日(木)

b 場 所 宮崎県福祉総合センター 本館2階 ボランティアセミナールームI

c 出席者 7名(県担当課、市町村社協、NPO団体、本会職員等)

d 内 容

(a) 令和6年度の主な事業実施状況について

(b) 令和7年度事業計画(案)について

(c) 意見交換

ケ 宮崎県市町村ボランティア連絡協議会の支援

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会が実施する研修事業へ助成し、ボランテ

ィア活動の普及啓発を図るとともに同団体の事務局運営を支援しました。

(2) 多様な主体による地域福祉の推進と包括的な支援体制の整備

各市町村における包括的な支援体制を構築し、誰もが安心して生活できる福祉のまちづくりの推進を図るため、住民参加による地域づくりや民間事業者の協力による地域見守り活動の推進、地域福祉推進のための人材育成や普及・啓発、種別協議会、関係機関・団体等と連携・協働した各種事業等を総合的に実施しました。

《実施事業》

ア 包括的支援体制構築後方支援事業

地域共生社会の実現に向けて、市町村における包括的な支援体制の構築を目指し、県内の行政（市町村）職員、市町村社協、地域福祉コーディネーター等が一体となった取組が推進されるよう、県と連携しながら、各種研修を通じた後方支援に取り組みました。

(ア) 地域福祉コーディネータースキルアップ研修

a 期 日 9月11日（水）

b 場 所 宮崎県福祉総合センター 本館2階 ホランティアセミナールーム

c 参加者 49名（地域福祉コーディネーター養成研修修了者）

d 内 容

(a) 導入講義「地域共生社会の担い手としての地域福祉 Co への期待」

講師 九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(b) 実践報告・トークセッション

報告者 日向市地域福祉コーディネーター連絡会 会長 五十川 裕真 氏

日向市地域福祉コーディネーター連絡会 事務局 加藤 正憲 氏

NPO 法人はじまる 理事長 甲斐 恭子 氏

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(c) 意見交換「これまでの取組を振り返る」

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(d) ケーススタディ

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(イ) 地域共生社会推進研修（包括的支援体制推進編）

a 期 日 10月11日（金）

b 場 所 宮崎観光ホテル 東館3階 翠耀

c 参加者 64名

（市町村職員、市町村社協職員、地域福祉コーディネーター等）

d 内 容

(a) 行政説明「地域共生社会の実現に向けた包括的な支援体制の整備について」

厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課 地域共生社会推進室

自治体支援係 吉井 綾音 氏

(b) 実践報告「えびの市における包括的支援体制づくりに向けた取組

～重層的支援体制整備事業への移行準備の今～

報告者 えびの市役所福祉課 課長補佐 田中 慎吾 氏
えびの市社会福祉協議会 主任 田原 靖大 氏

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(c) グループディスカッション

「自地域における包括的な支援体制づくりに向けて」

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(ウ) 地域共生社会推進研修（プラン作成編）

a 期 日 11月29日（金）

b 場 所 シーガイアコンベンションセンター 3階 瑞洋

c 参加者 45名（12チーム）

（市町村職員、市町村社協職員、地域福祉コーディネーター等）

d 内 容

(a) 基調説明「包括的な支援体制の構築に向けて～地域づくりから考える～」

講師 九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(b) グループワーク

ワーク①「各市町村における地域生活課題の抽出・共有化と目標の立案」

ワーク②「地域生活課題の解決に向けて、「地域支援計画シート」による
プラン作成」

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(c) プレゼンテーション「各市町村における「地域支援計画」の発表」

(d) リフレクション

(エ) 地域課題解決のための実践研修

a 期 日 2月17日（月）・18日（火）

b 場 所 大阪府阪南市 他

c 参加者 5名（三股町福祉課、三股町社協）

イ 地域福祉コーディネーター養成研修

包括的支援体制の構築に向けて、様々な関係機関・団体等と調整を行いながら、地域の生活・福祉課題の解決に向けてリーダーシップを発揮する役割を担う「地域福祉コーディネーター養成研修」を開催し、39名が修了しました。

(ア) 第1日目

a 期 日 7月19日（金）

b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館4階 大研修室

c 参加者数 50名

d 内 容

(a) 基調説明「こどもの貧困について」

講師 宮崎県こども家庭課 主任主事 與田 祐貴 氏

(b) 講義「地域福祉コーディネーター活動がもたらす効果」

講師 九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(c) 活動報告

報告者 エデンの園 サービス管理責任者 光森 勇人 氏

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(d) 講義・グループワーク「地域づくりとソーシャルワーク」

講師 九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(イ) 第2日目

a 期 日 8月27日(火)

b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館4階 大研修室

c 参加者数 45名

d 内 容

(a) 演習

演習①「地域共生社会の理念と地域づくりを担う実践者への期待」

演習②「本人・家族の困りごとや生きづらさを理解する」

演習③「本人・家族を支えるネットワークづくり」

演習④「本人・家族を支える地域づくり」

演習⑤「研修のリフレクションとアクションプランの作成」

演習講師

宮崎市社会福祉協議会清武支所 主査 大野 雅弘 氏

綾町社会福祉協議会 地域福祉課長 横山 知典 氏

アドバイザー

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(ウ) 第3日目

a 期 日 2月17日(月)

b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館4階 大研修室

c 参加者数 39名

d 内 容

(a) 演習「研修受講後の実践のリフレクション」

演習講師

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(b) 実践報告

報告者 NPO法人はじまる 理事長 甲斐 恭子 氏

コーディネーター

九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

(c) 演習「地域福祉コーディネーターとしてのプラン作成」

講師 九州医療科学大学 社会福祉学部 教授 川崎 順子 氏

ウ みやざき地域見守り応援隊事業

地域住民の日常生活に密着した業務を行う民間事業者と連携した地域見守り活動(「みやざき地域見守り応援隊」)の推進を図りました。なお、今年度は、新たに「宮崎県読売防犯協力会」、「宮崎県信用金庫協会」、「九州東邦株式会社」の3事業者・団体が加わり、協定締結者は、27事業者・団体となりました。

(ア) みやざき地域見守り応援隊の広報・啓発活動

みやざき地域見守り応援隊を県民に広く周知するため、本会ホームページに毎月の地域見守り活動の状況を掲載しました。

- ・みやざき地域見守り応援隊の通報実績(令和7年3月末現在)
警察・消防への通報 26件

市町村窓口への連絡 12件

(イ) みやざき地域見守り応援隊連絡会議

- a 期 日 2月7日(金)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館3階 中研修室
- c 参加者数 33名(協定締結事業者の担当者、県、県社協)
- d 内 容

- (a) 新規協定締結事業者の紹介
- (b) これまでの地域見守り活動の状況について
- (c) 協定締結事業者の取組状況について
- (d) 情報提供

「消費生活センターにおける連携事例等について」

宮崎県消費生活センター 主幹 村岡 慎也 氏

宮崎県 生活・協働・男女参画課 主査 向井 由佳 氏

「認知症の人の地域の見守りについて」

宮崎県 長寿介護課 医療・介護連携推進室

主任主事 甲斐 裕斗 氏

エ 企業等の社会貢献活動広報事業

以下の2つの目的により、県域での様々な企業等の社会貢献活動の事例を集積、情報公開するためのインターネット上のページ更新を行いました。

- (ア) 県内企業等の社会貢献活動を県民に向けて周知する(見える化を図る)ことにより、県民の関心を高め更なる活動を促進する。
- (イ) 市町村域における身近な地域での支え合いを多様な主体が連携・協働して行うことを支援する。
 - ・登録事例数 59事例

オ 広がれ、助け合いの輪！みやざき交流集会

複雑化する地域課題の解決策を見出すため、地域住民、企業・団体、ボランティア・NPO、市町村社協、社会福祉法人など、多様な主体が意見交換できる場をつくることで、多様な連携・協働を創り出し、県民相互の支え合いや助け合いの輪を広げることを目的に開催しました。

- (ア) 期 日 1月29日(水)
- (イ) 場 所 都農町中央公民館 大会議室
- (ウ) 参加者数 46名(行政・社協・社会福祉法人・企業・NPO等)
- (エ) 内 容

- a 実践報告「人と人がつながる多目的交流広場～SUZUKI HOUSE～」

報告者：都農町社会福祉協議会 黒木 聖保 氏

都農町れんげの会 会長 河野 しげ 氏

- b 多目的交流広場「SUZUKI HOUSE」見学

- c ヒアリングタイム

聞き手

九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

話し手

都農町社会福祉協議会 黒木 聖保 氏

都農町れんげの会 会長 河野 しげ 氏

d アクション会議

アドバイザー 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

カ みやざき交流集会 Branch Meeting

地域課題のテーマを絞り、様々な実践取組事例について情報共有及び意見交換を行いながら、オンラインを活用し、ゆるやかなネットワーク構築を図りました。

【1回目】

(ア) 期 日 9月3日(火)

(イ) 方 法 Web研修

(ウ) 参加者数 66名

(エ) 内 容 テーマ「移動支援」

a 実践発表

- ・「かなみおでかけサポート取組紹介」

静岡県函南町／函南町社会福祉協議会 主査 芹澤 祐貴 氏

かなみおでかけサポート 下郷 幸 氏

かなみ暮らしの応援隊 秋山 幸代 氏

- ・「生活支援と一体的に提供される付き添い支援やサロン送迎 - 地域の自由な発想と主体性を尊重した住民主体の移動支援を目指して -」

長野県長野市／長野市社会福祉協議会 地域福祉課

課長補佐 野口 一輝 氏

b ヒアリングタイム(全体意見交換)

聞き手 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

c グループ討議

アドバイザー 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

【2回目】

(ア) 期 日 10月30日(水)

(イ) 方 法 Web研修

(ウ) 参加者数 44名

(エ) 内 容 テーマ:「子どもの学習支援・生活支援」

a 実践発表

- ・「一般社団法人栗東生活支援協議会(ふるさと生活サポート応援隊の取り組みについて)」

滋賀県栗東市／栗東市社会福祉協議会

常務理事 伊丹 正治 氏

地域福祉課長 太田 忠行 氏

ボランティア市民活動係長 中沢 有紀 氏

- ・「子どもたちを支える私たちの活動 - 無償の愛を届ける -」

埼玉県三芳町／三芳町社会福祉協議会 主事 小沼 和矢 氏

b ヒアリングタイム(全体意見交換)

聞き手 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

c グループ討議

アドバイザー 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

【3回目】

(ア) 期 日 12月10日(火)

(イ) 方 法 Web研修

- (ウ) 参加者数 54名
 (エ) 内 容 テーマ「地域の居場所づくり」
 a 実践発表
 ・「子ども達への支援と居場所づくり～igocoti～」
 北海道苫小牧市／苫小牧市社会福祉協議会 総合支援室
 室長 千寺丸 洋 氏
 ・「地域共生施設～だれでも広場～」
 群馬県渋川市／渋川市社会福祉協議会 地域福祉課長 登坂 将志 氏
 b ヒアリングタイム（全体意見交換）
 聞き手 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏
 c グループ討議
 アドバイザー 九州大学大学院 教授 高野 和良 氏

キ ふるさと愛の基金事業

- (ア) ふるさと愛の基金等助成事業運営委員会
 a 第1回ふるさと愛の基金等助成事業運営委員会
 (a) 期 日 7月25日（木）
 (b) 参加者数 5名
 (c) 内 容
 <報告事項>
 ・ふるさと愛の基金等助成事業報告（令和5年度の事業報告）
 <協議事項>
 ・令和7年度ふるさと愛の基金助成事業応募の手引（案）について
 b 第2回ふるさと愛の基金等助成事業運営委員会
 (a) 期 日 2月18日（火）
 (b) 参加者数 5名
 (c) 内 容
 <協議事項>
 ・令和7年度ふるさと愛の基金助成金配分（案）について
 ・宮崎県社会福祉協議会が行う事業（案）について

(イ) ふるさと愛の基金事業

基金総額 1,163,179,236円（令和7年3月31日現在）

a 助成（事業区分別状況）

（単位：千円）

事業区分別	福祉活動	普及啓発	講演会等 開催	器具・備品 購入	施設・車両 整備	合 計
助成団体数	4	4	29	3	0	35
助成金額	986	691	3,528	563	0	5,768

b 広報・啓発

ホームページ及び新聞掲載を行いました。

c 寄附金

(a) 団体・個人

寄附者	月日	寄附金額(円)
株式会社勉強堂 様	10月4日	42,000
株式会社 cielo azul 様	9月20日	20,000
一般社団法人生命保険協会宮崎県協会 様	11月15日	300,000
株式会社 ダンロップスポーツエンタープライズ 様	12月30日	1,000,000
合計		1,362,000

(b) ふるさと愛の基金サポーター

株式会社メモリード宮崎 様	町川 安久 様	吉田 寿生 様
---------------	---------	---------

ク 民間助成事業

(ア) 助成金に関する情報提供

本会ホームページへの掲載 27件

(イ) 各種寄附金、寄贈物品等の受入れ

a 寄附金：2件（ふるさと愛の基金への寄付金を除く）

寄贈者	月日	寄附金額(円)	助成先
九州労働金庫 宮崎県本部 様	3月6日	304,469円	宮崎県児童福祉施設協議会
朝日生命労働組合 宮崎県支部 様	3月15日	100,000円	宮崎県社会福祉協議会
寄附金合計			1,704,469円

b 寄託物品：10件

寄贈者	月日	寄託物品	助成先
一般社団法人 宮崎県職員互助会様	4月	希望物品	県内NPO 5団体
株式会社宮崎銀行 様	4月23日	ミネベアミツミ FC ホームゲ ーム招待券30 枚	児童養護施設 ・障害者施設 ・障がい福祉サービ ス事業所 5施設
一般社団法人宮崎県庁友会 様	6月	希望物品	就労継続支援B型 事業所 1団体

寄 贈 者	月 日	寄託物品	助成先
九州納豆組合 様	7月10日	納豆 3,273食	児童福祉施設 141施設
一般社団法人 生命保険協会宮崎県協会 様	9月	障がい者を支援 する団体への物 品寄贈（資金助 成 100,000円）	県内 NPO 1団体
宮崎県遊技業協同組合 様	9月30日	吸水土のう 415袋	特別養護老人ホーム 2施設
一般社団法人 生命保険協会宮崎県協会 様	12月3日	軽自動車1台	県内 1社協
一般社団法人 宮崎県シラスウナギ協議会 様	12月22日	ウナギのかば焼 き 482尾	児童養護施設 17施設
株式会社マルヤナギ小倉屋 様	1月27日 発送	蒸し大豆	養護老人ホーム 特別養護老人ホーム 軽費老人ホーム ケアハウス 50施設へ案内
宮崎神宮 様	2月3日～ 4日	御神酒 154本	養護老人ホーム 軽費老人ホーム ケアハウス 救護施設 14施設

(3) 高齢者の健康、生きがいがづくりと社会参加の推進

「宮崎ねんりんピック交流大会」や「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会開催事業」などのスポーツ・文化イベントの開催を通じ、高齢者の心身の状況に応じた健康・生きがいがづくりを支援するとともに、高齢者の多様な活躍の場づくりを進めるためのNPO活動等への参加促進や、介護予防という観点から高齢者が気軽に取り組めるニュースポーツの普及に努めました。

また、高齢者が介護の担い手（介護助手）として活躍してもらうため、介護施設での就労体験の募集を行いました。

《実施事業》

ア 宮崎ねんりんピック交流大会開催事業

県内在住の高齢者を対象に、スポーツ・文化交流大会を開催し、仲間づくりや健康づくりを積極的に支援しました。

- (ア) 期 日 5月12日（日）～6月2日（日）
(イ) 場 所 宮崎市、都城市、小林市、西都市、綾町、国富町、三股町
(ウ) 参加者数 3,014名（選手2,767名 役員247名）
(エ) 種 目 29種目
スポーツ交流大会 26種目
文化交流大会 3種目（囲碁、将棋、健康マージャン）

イ 全国健康福祉祭派遣事業

高齢者のスポーツ・文化・芸術の祭典「全国健康福祉祭(通称:ねんりんピック)」の第36回鳥取大会に本県選手団を選考し、派遣を行いました。

- (ア) 期 日 10月19日(土)～22日(火)
- (イ) 場 所 鳥取県内 4市7町
- (ウ) 派遣者数 役員選手 121名(選手 108名、役員 13名)
- (エ) 派遣種目 17種目(卓球、テニス、ソフトテニス、健康マージャン等)

ウ 心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会開催事業

全国の要介護・要支援高齢者やその家族、施設職員、ボランティア、医療・介護を学んでいる学生の方等を対象に短歌を募集し、優秀作品の表彰やステージイベントを行いました。

(ア) 心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会

a 応募結果

応募者数 1,934名(3,169首)

要介護・要支援高齢者の部 1,098名(1,793首)

介護者の部 836名(1,376首)

※全都道府県からの応募がありました。

※海外からは台湾2名、ブラジル2名の応募がありました。

b 入選作

要介護・要支援高齢者の部(最優秀賞1名、優秀賞10名、佳作50名)

介護者の部(最優秀賞1名、優秀賞3名、佳作10名)

c その他

・歌集「老いて歌おう2024」(全国版第23集) 鉦脈社刊行

・ステージイベントの様子を撮影したDVD(100枚)を作成し、高齢者施設や医療・福祉系の学校等に情報発信しました。

(イ) 「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」ステージイベント

a 期 日 12月7日(土)

b 場 所 宮崎市民プラザ オルブライトホール

c 参加者数 約170名

d 内 容

① 表彰式

「心豊かに歌う全国ふれあい短歌大会」最優秀賞・優秀賞

② 短歌トーク「老いて歌おう そして元気に」

今年度短歌大会受賞者

河野 俊嗣 氏(宮崎県知事)

町川 安久 氏(宮崎県社会福祉協議会会長)

浜砂 なぎさ 氏(チェリスト)

久永 草太 氏(歌人、獣医師)

〈司会進行〉

伊藤 一彦 氏(現代歌人協会会員、県立図書館名誉館長、県立看護大学名誉教授)

エ 元気な高齢者が活躍する場づくり支援事業

高齢者が自分の持つシニアパワーを活かし、社会参加を行うことは重要な課題であり、シニア活動団体や市町村社協職員等を対象にした研修会の開催やインターネットや冊子による県民向けの情報の発信など、高齢者による各種活動の立ち上げや参加を支援しました。

(ア) シニア活動団体研修会

本会ホームページより情報発信を行っている活動団体等を対象に、活動の進め方等について研修会を開催しました。

- a 期 日 9月9日(月)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター
- c 参加者数 30名
- d 内 容

テーマ「課題解決のヒントをつかむ！聞いてみらんね 語ってみらんね」

内 容 3団体の活動団体報告及びワークショップ

ファシリテーター 紫安 智穂 氏

(イ) シニア活動団体SNS研修会

シニア活動団体が、普及が進んでいるSNSを活用した情報発信により、活動を活性化するための研修会を開催しました。

内 容 Instagram・X (Twitter)・防災の基礎・応用

講 師 office163 代表 中村 紘弥 氏

運 営 株式会社 宮崎県ソフトウェアセンター

①基礎編

期 日	場 所	参加者数
7月22日(月)	宮崎県福祉総合センター	4名
7月17日(水)	延岡総合文化センター	4名
8月19日(月)	宮崎県福祉総合センター	2名
		計10名

②応用編

期 日	場 所	参加者数
7月29日(月)	宮崎県福祉総合センター	3名
8月5日(月)	延岡総合文化センター	5名
8月26日(月)	宮崎県福祉総合センター	2名
		計10名

(ウ) 本会ホームページによる広報、ガイドブックの作成

団塊パワー等支援のコンテンツでシニアが活躍する様々な団体(96団体)の紹介を行うとともに、冊子「シニア・団塊世代応援ガイドブック」を800冊作成し、団体の立ち上げや活動への参加についての問合せに対応しました。

(エ) シニアインターンシップの実施

団体活動に未参加の高齢者に団体活動を体験してもらうため、シニアインターンとして団体の活動に実際に参加し、その経験を生かした活動を行えるよう、支援しました(シニアインターンシップ参加者5名、延50日)。

オ ニュースポーツ指導者養成事業

高齢者の生きがいづくり、介護予防の促進や相互の交流を深めるために、ニュースポーツの知識及び技術を習得して、地域での高齢者健康教室等の指導者として活躍できる人材を養成するための講習会を実施し、用具の貸出しなどを行いました。

(ア) ニュースポーツ指導者養成講習会

講義及び演習

卓球バレー(講師 今任 貴子氏)

スカットボール、オーバルボール、ディスクゲッター、ラダーゲッターの体験

地域	期 日	場 所	参加者数
県南	9月 3日 (火)	都城市早水公園体育文化センター	13名
県央	9月10日 (火)	ひなた武道館主道場	12名
県北	9月18日 (水)	アスリートタウン延岡アリーナ	33名
			計58名

(イ) 用具の貸出し

カローリング、スカットボール、オーバルボール、ディスクゲッター、輪投げ、グラウンド・ゴルフなど(10種目、109回)

カ 介護の担い手体験事業

元気な高齢者に対し、介護の担い手(介護助手)として活躍してもらうため、介護施設での就労体験を行いました。

(ア) 体験期間 6月1日(土)～令和7年1月31日(金)

(イ) 体験施設 県内一円の58施設

(ウ) 体験者数 26名、うち11名が就業

2 市町村社協、民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設等の支援と

組織強化

(1) 市町村社協の支援と組織強化

市町村社協への巡回相談支援事業や会議、市町村社協連絡協議会と連携した研修会の開催等とおして、地域共生社会の実現に向けた各市町村における包括的な支援体制の構築を支援しました。

《実施事業》

ア 市町村社協の実態把握と課題の明確化

(ア) 市町村社協活動便覧の作成及び広報

市町村社協活動の実態把握及び見える化・見せる化を目的に市町村社協活動便覧を作成し、冊子として各市町村社協へ配布しました。

(イ) 市区町村社協経営指針に基づくチェックリストの実施

県内の市町村社協における「市区町村社協経営指針に基づくチェックリスト」の活用促進を図るとともに、集計結果に基づき、市町村社協の事業・活動、組織

基盤強化を支援する上での基礎資料として活用しました。

イ 市町村社協会長・事務局長会議

- (ア) 期 日 6月14日(金)
- (イ) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (ウ) 参加者数 56名(市町村社協36名、県福祉保健部2名、本会18名)
- (エ) 内 容 第6次県社協活動推進計画及び令和6年度事業計画説明、各部連絡・依頼事項、社会福祉協議会基本要項2025第一次案の説明、協議・情報交換

ウ 市町村社協巡回相談支援事業

県と連携し、各市町村行政及び社協、関係機関に対するヒアリングを行い、重層的支援体制整備事業の取組状況等を把握するとともに、「市区町村社協経営指針に基づくチェックリスト」の結果及び市町村社協活動便覧等をもとに、当該社協の活動状況や課題等について意見交換を行いました。

- (ア) 椎葉村、椎葉村社協、NPO 法人はじまる
実施日：11月5日(火)
- (イ) 門川町、門川町社協、NPO 法人地域活動センターつながり
実施日：11月5日(火)
- (ウ) 日向市、日向市社協
実施日：11月6日(水)
- (エ) 延岡市、延岡市社協
実施日：11月6日(水)

エ 市町村社協連絡協議会との連携・協働

「市町村社協管理職員研修」及び「市町村社協一般職員研修」を共催し、市町村社協の組織基盤強化や人材育成といった重点課題に対し、具体的実践を視野に入れた研修を実施しました。

(2) 民生委員・児童委員の支援と組織強化

宮崎県民生委員児童委員協議会の事務局として運営支援を行うとともに、民生委員・児童委員活動に必要な知識・相談技術の習得を目的とした研修を行いました。

また、民生委員児童委員候補者等育成事業を実施するとともに、本県において全国民生委員児童委員大会を開催することで、民生委員・児童委員活動に対する幅広い世代への理解促進を図りました。

《実施事業》

ア 民生委員・児童委員活動の支援

- (ア) 物故民生委員児童委員合同追悼式
 - a 期 日 5月10日(金)
 - b 場 所 宮崎県福祉総合センター 本館2階 ボランティアセミナールーム
 - c 合祀者数 213名(6年度末：6, 266柱)
 - d 参列者数 134名
 - e 内 容

- (a) 合祀者数の報告
 - (b) 追悼のことば
 - (c) 献花
 - (d) 頌徳の詞贈呈
 - (e) 遺族代表謝辞
- (1) 全国民生委員児童委員互助共励事業（給付事業・研修事業）
- a 給付事業

種 別		件 数
公務	公務死亡	0 件
	公務傷害	2 件
	公務疾病	0 件
一般死亡		8 件
配偶者死亡		1 1 件
一般傷病	2 か月未満	2 件
	2 か月以上	2 3 件
災害見舞	全～中規模半壊	0 件
	半～準半壊	3 件
退任慰労	3 年超 9 年未満	1 8 件
	9 年以上 15 年未満	7 件
	15 年以上	7 件

b 研修事業（地方共励事業）

(a) 指定民生委員児童委員協議会事業

民児協運営の充実強化と地域福祉活動の実施を通じて民生委員児童委員活動の活性化を図ることを目的に、令和5年度から2年間、延岡市北方地区民児協と西米良村民児協を指定しました。

(b) 相談技法研修会＜傾聴研修＞

- ①期 日 2月20日（木）
- ②方 法 Web 研修
- ③内 容 講義・相談技法演習
【講師】市民活動団体 ヘルプラインいのち
- ④参加者数 163名

イ 民生委員・児童委員候補者等育成事業

民生委員・児童委員のなり手確保に向け、地域住民への民生委員・児童委員の役割や活動内容への理解促進を図るため、新聞広告等による広報とともに、動画による事前学習と活動見学を実施しました。

【事前学習（動画視聴）】

(ア) 内 容

民生委員児童委員 PR 動画視聴

「あなたのまちの民生委員・児童委員～地域の身近な相談相手～」
(全民児連作成)

【活動見学】

＜都城会場＞

- (ア) 期 日 3月6日（木）
- (イ) 場 所 高崎総合支所
- (ウ) 参加者数 6名
- (エ) 内 容 高崎地区民児協定例会の見学・意見交換

《延岡会場》

- (ア) 期 日 3月6日(木)
(イ) 場 所 南方東コミュニティセンター
(ウ) 参加者数 3名
(エ) 内 容 南方東地区民児協定例会の見学・意見交換

《宮崎会場》

- (ア) 期 日 3月10日(月)
(イ) 場 所 大宮地区交流センター
(ウ) 参加者数 4名
(エ) 内 容 大宮地区民児協定例会の見学・意見交換

《日南会場》

- (ア) 期 日 3月10日(月)
(イ) 場 所 南郷健康福祉センター
(ウ) 参加者数 1名
(エ) 内 容 南郷地区民児協定例会の見学・意見交換

ウ 宮崎県民生委員児童委員協議会との連携・協働

(ア) 第93回全国民生委員児童委員大会(宮崎大会)の開催

- a 期 日 1日目:11月20日(水)
2日目:11月21日(木)
b 場 所 シーガイアコンベンションセンター
c 参加者数 2,739名
d 内 容

(a) 1日目

- ①オープニング 天岩戸神楽保存会
②式典・表彰
③特別講義「向こう側の笑顔とこちら側の笑顔
～まずは私が幸せでいよう～」

KIGURUMI.BIZ(株)代表取締役 加納 ひろみ 氏

- ④大会宣言等
⑤アトラクション 社会福祉法人宮崎福祉会、宮崎市民児協

(b) 2日目 活動交流集会(5)・シンポジウム(1)

(3) 社会福祉法人・福祉施設等の支援と組織強化

本会会員法人(施設等)に対する経営支援を行うため、社会福祉法人経営者協議会と協働し、専門相談員(弁護士、税理士、社会保険労務士)による経営相談や各種制度改革等の情報提供に努めるとともに、内部組織である7つの社会福祉施設等種別協議会の運営を支援しました。

《実施事業》

ア 社会福祉法人経営支援事業

(ア) 専門経営相談員による経営等に関する指導・援助

本会会員法人・施設に対し専門相談員(弁護士、税理士、社会保険労務士)による法務、人事・労務、財務、経理、税務等の指導・援助により、社会福

社法人の自律的で適正な経営を支援しました。

(相談支援活動実績)

相談種類	件数
法務	2
人事・労務	3
経理	2
計	7

※他、事務局対応 2件

- (イ) 社会福祉制度・経営に関する情報の提供
県社会福祉法人経営者協議会と連携・協働し、経営協未加入法人へのセミナー等への参加を呼び掛けるなど、各種別協議会においても制度・経営に関する情報提供に努めました。

イ 社会福祉施設等種別協議会の運営支援

本会内部組織である7つの社会福祉施設等種別協議会の運営を以下の項目により支援しました。

なお、詳細は別冊種別協議会事業報告書のとおり。

- (ア) 会議、委員会活動等の支援
(イ) 研修会・セミナー等の開催支援
(ウ) 各種イベント等の開催支援

3 生活困窮者等の自立支援と権利擁護の推進

(1) 生活困窮者等の自立支援

市町村社協や民生委員、関係機関との連携等のもと、生活福祉資金貸付事業等をおこなって、低所得者等に対する資金の貸付けと必要な相談支援、フォローアップ支援等を行うことにより、その世帯の経済的自立と生活意欲の助長促進、適切な債権管理等に努めました。

《実施事業》

ア 生活福祉資金貸付事業

- (ア) 生活困窮者支援に係る市町村社協の取組等の把握と緊急小口資金等の特例貸付におけるフォローアップ支援の推進等
- a 市町村社協への訪問
- 12月16日(月) 国富町・高千穂町社協
12月17日(火) 日之影町・五ヶ瀬町社協
- b 主な調査
- (a) 緊急小口資金等の特例貸付後の借受人支援に係る相談件数実績等の把握(毎月)
- (b) 緊急小口資金等の特例貸付借受人へのフォローアップ支援の状況等に関する調査の実施(8月)
- (イ) 市町村社協との協議・共有の場の設定
- a 生活福祉資金事務説明会

- (a) 期 日 6月5日(水)
- (b) 方 法 Web開催
- (c) 参加者数 72名
- (d) 内 容
 - ・生活福祉資金貸付事業の役割・各資金の説明
 - ・申請を行う際の注意点
 - ・月次報告書について
 - ・変更届や各種申請、報告等について
 - ・本則償還について
 - ・コロナ特例の償還・免除・猶予等について

b 生活福祉資金特例貸付生活支援会議

- (a) 期 日 2月26日(水)
- (b) 方 法 Web開催
- (c) 参加者数 40名
- (d) 内 容
 - ・市町村社協と本会との情報共有の円滑・効率化について
 - ・少額返済及び延滞利子に関することについて
 - ・特例貸付における今後のスケジュールについて
 - ・相談記録及びフォローアップ支援に関する調査の結果について
 - ・フォローアップ支援にかかるグループ討議・全体共有

c 3市(宮崎・都城・延岡)における生活福祉資金にかかる担当者協議

- (a) 期 日 5月24日(金)
- (b) 方 法 Web開催
- (c) 参加者数 7名
- (d) 内 容
 - ・フォローアップ支援の状況について
 - ・その他

(ウ) 適切な貸付と債権管理

a 申込・貸付決定状況

資金の種類	申込件数 (件)	決定	
		件数(件)	金額(円)
総合支援資金	4	3	900,000
福祉資金	102	94	16,307,000
教育支援資金	183	183	116,893,000
不動産担保型生活資金	0	0	0
合 計	289	280	134,100,000

※令和6年度中に貸付を決定した件数・金額

b 償還状況

資金の種類		貸付中		償還済額 (円)
		件数 (件)	金額 (円)	
本則	総合支援資金	840	388,357,219	11,674,399
	福祉資金	859	184,753,207	16,134,711
	教育支援資金	2,095	792,969,275	62,112,188
	不動産担保型生活資金	22	140,767,022	0
特例	緊急小口資金	3,705	539,661,668	174,422,972
	総合支援資金	7,155	3,458,327,985	126,079,913
離職者支援資金		42	38,538,014	355,290
臨時特例つなぎ資金		6	402,180	19,000
合計		14,724	5,543,776,570	390,798,473

※貸付中件数及び金額は、令和7年3月31日現在の元金分を計上

※償還済額は、令和6年度中に償還があった元金分を計上

c 償還免除・猶予状況

	本則		特例	
	件数 (件)	金額 (円)	件数 (件)	金額 (円)
償還免除	27	12,746,250	2,249	1,033,279,462
償還猶予	24	—	282	—

※償還免除の件数及び金額は、令和6年度中に決定した元金分を計上

※償還猶予の件数は、令和6年度中に決定した件数を計上

d 生活福祉資金貸付審査等運営委員会

(a) 期 日 7月9日(火)

(b) 場 所 宮崎県福祉総合センター 本館3階 共用会議室

(c) 参加者数 4名

(d) 内 容

- ・令和5年度事業報告について
- ・令和6年度事業計画について
- ・緊急小口資金等の特例貸付の実績と今後の支援について

e 滞納債権の償還促進

(a) 一斉督促状の送付

6月末及び12月末時点で直近滞納月数が連続3回以上の債務者に対して、8月に1,496件、2月に1,463件分の督促状を送付しました。

(b) 個別督促状の送付

滞納状況や債務者からの相談等に応じて、140件分の個別の督促状を送付しました。

(c) 償還残額のお知らせの送付

令和6年10月末現在のデータをもとに、償還残額がある債務者に対して、11月に12,132件(本則2,598件、特例9,534件)分の残額のお知らせを送付しました。

(d) 所在不明者の住所調査

郵送物の返還や市町村社協からの依頼等に基づき、当該市町村に対し住

民票等の申請を本則で延べ 442 件、特例で延べ 850 件行い、所在地情報の更新に努めました。

(e) 個別訪問

不動産の再評価や生活状況確認等のため、自宅等を 10 か所訪問しました。

イ ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業

高等職業訓練促進給付金を活用して養成機関に在学し、就職に有利な資格取得を目指すなど、自立に向けて意欲的に取り組むひとり親家庭の親に対し、資金を貸し付けること等で、自立の促進を図りました。

- (ア) 入学準備金 17件 8,100,000円
- (イ) 就職準備金 3件 600,000円
- (ウ) 住宅支援資金 33件 10,476,000円

※令和6年度中に貸付を決定した件数・金額

ウ 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業

児童養護施設退所者等に対し、資金を貸し付けること等で、自立の促進を図りました。

- (ア) 生活支援費 6件 6,850,000円
- (イ) 家賃支援費 7件 4,935,000円
- (ウ) 資格取得支援費 一件 ー 円

※令和6年度中に貸付を決定した件数・金額

エ みやざき安心セーフティネット事業（複数の社会福祉法人による生活困窮者等に対する相談支援事業）の推進

既存の制度や福祉サービスでは対応が困難で、緊急な対応が必要な生活困窮者等に対し、県内の社会福祉法人が、社協、関係団体等と連携・協働しながら、自主的な社会貢献活動の取組として、生活困窮者等の自立を支援するための相談支援活動を実施しました。

(ア) 参加法人数

143法人179施設（令和7年3月31日現在）

(イ) 種別毎の加入施設数

分野・種別		施設数
老人福祉施設	特別養護老人ホーム	51
	養護老人ホーム	9
	軽費老人ホーム・ケアハウス	5
	計	65
障害者施設	障害者支援施設（入所） ※障害児施設含む	20
	障害福祉サービス事業所（通所） ※障害児施設含む	21
	計	41
児童福祉施設	児童養護施設、乳児院	6
	児童心理治療施設（入所） 保育所（通所）	37

	計	43
その他		30
	合計	179

(ウ) 相談支援状況

相談受付 世帯数	相談支援 対応件数	経済的援助	
		世帯数	金額 (円)
82	384	67	2,617,445

(エ) 基金運営委員会の実施

a 第1回基金運営委員会

- ・期 日 6月17日 (月)
- ・内 容 ①令和5年度事業報告及び収支決算について
②複数法人による社会貢献事業の実態調査について (他県)
③今後の事業運営における検討事項

b 第2回基金運営委員会 (Web 会議)

- ・期 日 10月10日 (木)
- ・内 容 就労体験支援モデル事業 (案) について

c 第3回基金運営委員会 (Web 会議)

- ・期 日 2月13日 (木)
- ・内 容 ①令和6年度事業実施状況について
②令和6年度補正予算 (案) について
③令和7年度事業計画 (案) 及び収支予算 (案) について
④就労体験支援モデル事業の進捗状況と今後について

d 書面報告

- ・期 日 3月18日 (火)
- ・内 容 施設ボランティアモデル事業 (※名称変更) について

(オ) 相談員の資質向上について

a 相談員研修会

(a) 基礎編

- ・期 日 6月17日 (月) 参加者数：66名
- ・会 場 シーガイアコンベンションセンター 2階 「ファウンテン」
- ・内 容 ①みやざき安心セーフティネット事業について
②多様な相談者に寄り添うための相談援助に必要な基礎的な視点
講師：同志社大学 社会学部 社会福祉学科
教授 野村 裕美 氏
③生活保護制度について
④生活困窮者自立支援制度について

(b) 専門編

- ・期 日 9月9日 (月) 参加者数：51名
- ・会 場 シーガイアコンベンションセンター 2階 「ファウンテン」
- ・内 容 ①法テラスの概要や利用方法について
②精神保健福祉センターの概要や利用方法について
③生活福祉資金貸付制度について
④日常生活自立支援事業について

(c) 応用編

- ・期 日 12月17日(火) 参加者数：51名
- ・会 場 シーガイアコンベンションセンター 3階 「瑞洋」
- ・内 容 ①講義

「複合的な課題を抱えた世帯に寄り添う支援について」

講師：同志社大学 社会学部 社会福祉学科

教授 野村 裕美 氏

②相談支援実践事例報告・演習

「母子世帯の支援をとおして私たちが取組んだこと・感じたこと」

事例提供者：障害者支援施設 みどり園

都城市社会福祉協議会

b 市町村連絡会議の推進

(a) 市町村社協事務負担金の支給

市部50,000円(5か所) 町村部40,000円(2か所)

(カ) 広報・普及啓発

a 市町村連絡会議、関係機関会議等での事業説明、意見交換

b 未参加法人への参加促進の取組み(213法人)

・文書通知及び施設訪問(7か所)による加入促進

c チラシ・パンフレットの増刷(5,000部)

・関係機関へチラシ、パンフレット、相談窓口一覧表を配布
(約400か所)

d みやざき安心セーフティネット通信の発行

e 宮崎県社協情報Comfortの掲載

オ 佐藤棟良福祉基金事業

(ア) 基金総額 227,059,672円(令和7年3月31日現在)

(イ) 中国帰国者の自立に対する支援

助成内容	助成基準額(円)		前期	後期	助成金額(円)	
			助成 件数	助成 件数		
修学費の助成 (月額)	小学校	2,000	0	0	0	
	中学校	4,000	1	1	48,000	
	高等学校, 高等専門学校, 専修学校高等課程	国公立	6,000	1	1	72,000
		私立	12,000	2	2	288,000
	短期大学, 専修学校専門 課程	国公立	15,000	0	0	0
		私立	20,000	1	1	240,000
	大学, 大学院	国公立	15,000	0	0	0
私立		20,000	1	1	240,000	
小 計			6	6	888,000	
就学支度費の助成 (年額)	小学校	20,000	0	—	0	
	中学校	20,000	0	—	0	

助成内容	助成基準額(円)			前期 助成 件数	後期 助成 件数	助成金額(円)
就学支度費の助成 (年額)	高等学校, 高等専門学校, 専修学校高等課程	国公立	30,000	1	—	30,000
	短期大学, 専修学校専門 課程	国公立	40,000	0	—	0
	大学, 大学院	国公立	40,000	0	—	0
	小 計			1	—	30,000
技能習得費の助成	運転免許証の取得		50,000	0	1	50,000
	語学検定認定取得		30,000	0	0	0
	小 計			0	1	50,000
中国帰国者等の社会交 流事業等への助成	中国帰国者支援サポーターの育成事 業等		300,000 以内	1	—	300,000
	小 計			1	—	300,000
合 計				8	7	1,268,000

(ウ) 障がい児・者の自立に対する支援

助成内容	助成基準額(円)		助成 件数	助成金額(円)
障がい福祉サービス事業所等利用者の就職祝い金	初回就職時	20,000	112	2,240,000
障がい児療育器材整備に対する助成	1施設1回	200,000 以内	2	400,000
合 計			114	2,640,000

(2) 高齢者、障がい者等の権利擁護の推進

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など判断能力が不十分な方に対する日常生活自立支援事業を実施するとともに、日常生活自立支援事業の支援から成年後見制度の利用に至るまでの支援が切れ目なく、一体的に確保される市町村の権利擁護体制の整備を支援しました。

さらに、高齢者、障がい者の虐待対応に関する支援や、今後増加が予測される単身高齢者の支援を図るため、高齢者終活支援普及について市町村社協と具体的な取組を協議しました。

《実施事業》

ア 日常生活自立支援事業

(ア) 契約締結審査会

精神科医師、弁護士（2名）、社会福祉士、精神保健福祉士、大学教授で構成する契約締結審査会を4回、宮崎県福祉総合センターで開催しました。

(イ) 会議・研修

a 事務説明会

事業の適正な運営を目的に開催しました。

(a) 期 日 5月22日(水)

(b) 開催形式 オンライン

(c) 参加者数 32名

b 専門員業務会議

事業の適正な運営及び今後の事業実施に向けて共通認識を図ることを目的に開催しました。

【第1回】

(a) 期 日 5月22日(水)

(b) 開催形式 オンライン

(c) 参加者数 38名

(d) 説明

- ・日常生活自立支援事業の現状について
- ・委託について
- ・報告書類について
- ・令和5年度福祉サービス運営適正化委員会指摘事項について
- ・令和6年度市町村社協調査について
- ・令和6年度事業実施に係る検討課題(案)について
- ・令和6年度事業スケジュール(予定)について
- ・法律相談事業について
- ・不正防止の取組について
- ・交通費積算の統一化について

(e) 意見交換

c 専門員実践力アップ研修

専門員を対象に、事業を推進する上で必要とされる専門的な知識や技術を習得し、今後の利用者支援に生かすことを目的に開催しました。

(a) 期 日 2月7日(金)

(b) 会 場 宮崎県福祉総合センター

(c) 参加者数 12名

(d) 内 容 基調説明「日常生活自立支援事業の現状と今後の展開」
説明者 全国社会福祉協議会地域福祉部(オンライン)
実践報告「日常生活自立支援事業と成年後見制度との連携による支援」
報告者 こゆ成年後見支援センター
主任 合田 明美 氏
事例検討「事例を通して支援のあり方を考える」
講師 大村市社会福祉協議会
事務局次長 山下 浩司 氏

d 生活支援員研修

生活支援員を対象に、生活支援員の役割を理解し、利用者一人ひとりのニーズに合わせた支援を提供できるよう、必要な知識と技術を習得することを目的に開催しました。

(a) 期 日 12月13日(金)

(b) 場 所 宮崎県福祉総合センター

(c) 参加者数 42名

(d) 内 容 講義・演習「障がい者の理解と支援に向けた対人援助技術(記録の取り方)」

講師 社会福祉法人愛育福祉会
延岡市北部地域基幹相談支援センター

- (ウ) 広報・啓発事業
 事業の普及・定着を図るため、以下の広報・啓発に努めました。
- a ホームページへの掲載
 - b パンフレット・リーフレット配布
 - c 本会広報誌「カンフォート」への掲載
- (エ) 事業の実施体制の整備に向けた取組
- a 事業推進マニュアルの徹底
 事業推進マニュアルについて、日頃の相談援助や事務説明会、市町村社協訪問調査等を通して徹底を図りました。
 - b 市町村社協の指導強化
 市町村社協の内部けん制体制を強化するため、特に支援が必要な市町村社協を重点指導社協として訪問調査等により指導強化に取り組みました。
- (オ) 法律相談
 判断能力や日常生活に不安のある高齢者や障がい者等が、地域で安心して生活できるよう、弁護士が暮らしに関わる市町村社協や本会からの相談に応じ法的解決策を助言することにより、業務運営の円滑化を図りました。
- (カ) 宮崎県福祉サービス運営適正化委員会運営監視部会への報告及び連携
 6月に開催された第1回運営監視部会に出席し、事業の実施状況や宮崎県福祉サービス運営適正化委員会から通知のあった令和5年度日常生活自立支援事業に係る市町村社協への訪問調査結果に対する改善計画、令和6年度事業計画について、報告を行いました。

〔日常生活自立支援事業の実利用人数〕（令和7年3月31日現在）（単位：人）

実利用者数	内 訳			
	認知症高齢者等	知的障がい者	精神障がい者	その他
563	116	231	189	27

イ 高齢者権利擁護支援センター事業

- (ア) 高齢者虐待対応・孤立死防止支援
- a 高齢者虐待相談支援
 - (a) 困難事例に対する市町村、地域包括支援センターへの相談対応
 - ・市町村、地域包括支援センター等からの相談 11件
 - (b) 高齢者虐待対応専門職チーム（県弁護士会、県社会福祉士会で構成）の派遣及び連携
 - ・ファックス相談 7件（14名）
 - ・ケース会議への派遣 4回（8名）
 - ・事前ケース会議の開催 4回（31名）
 - ・講師派遣 13件
 - b 高齢者虐待対応研修
 - 【1日目】
 - (a) 期 日 7月8日（月）
 - (b) 開催形式 宮崎県福祉総合センター、ハイブリット
 - (c) 参加者数 77名
 - (d) 内 容 報告「宮崎県の高齢者虐待の状況について」
 宮崎県長寿介護課医療・介護連携推進室

主査 住吉 美保 氏

講義「高齢者虐待対防止法の理解と市町村の責務」

講義「高齢者虐待と権利擁護」

講義・演習「初動期段階」

講師 宮崎県高齢者虐待対応専門職チーム

【2日目】

(a) 期 日 7月22日(月)

(b) 場 所 宮崎県福祉総合センター

(c) 参加者数 54名

(d) 内 容 講義・演習「対応段階」

講義・演習「評価と終結」

講師 宮崎県高齢者虐待対応専門職チーム

【3日目】

(a) 期 日 8月9日(金)

(b) 場 所 宮崎市民文化ホール

(c) 参加者数 38名

(d) 内 容 演習「総合演習」

講師 宮崎県高齢者虐待対応専門職チーム

c 養介護施設従事者等高齢者虐待防止研修会

(a) 期 日 11月18日(月) 11月27日(水)

(b) 開催形式 オンライン

(c) 参加者数 151名

(d) 内 容 報告「県内における高齢者虐待の状況について」

宮崎県長寿介護課医療・介護連携推進室

主査 住吉 美保 氏

講義・演習「虐待防止委員会の役割」「不適切なケア」

講師 社会福祉法人東北福祉会

認知症介護研究・研修センター

研究部長 吉川 悠貴 氏

d 孤立死防止連絡会議

(a) 期 日 1月22日(水)

(b) 場 所 ニューウェルシティ宮崎

(c) 参加者数 35名

(d) 内 容 報告「県内における高齢化の現状及び孤立し防止等の取組みについて」

意見交換「事前アンケートをもとに情報交換・意見後見」

講義・演習「地域におけるセルフ・ネグレクトの予防と支援」

講師 東邦大学看護学部大学院看護学研究科

教授 岸 恵美子 氏

e 意見交換会

各市町村の高齢者虐待防止や対応に係る事例や課題について意見交換を行いました。

(a) 期 日 3月13日(木)

(b) 開催形式 オンライン

(c) 参加者数 11市町村13名

(d) 内 容 意見交換

- ・「虐待の事実確認後のフィードバック」について
- ・「社会資源の不足における緊急時の対応」について

f 高齢者の権利擁護に関する出前講座

(高齢者権利擁護に関する県民への普及活動)

- (a) 実施回数 6件
- (b) 参加人数 144人

g 介護従事者向け高齢者虐待防止パンフレットの作成

介護従事者向け高齢者虐待防止の広報・啓発促進を目的とし、介護サービス提供事業所（特別養護老人ホーム・介護老人保健施設・介護医療院・認知症対応型共同生活介護）、市町村高齢者虐待対応窓口、地域包括支援センター、市町村社協等関係機関へ配布しました。（ホームページにも掲載）

※配布447事業所

(イ) 成年後見制度活用支援

a 成年後見制度に関する相談支援

市町村、地域包括支援センター等からの相談 10件

b 成年後見制度市町村職員等研修

市町村、地域包括支援センター、市町村社協の職員を対象に、権利擁護推進に有効な成年後見制度について理解を深め、制度の活用や促進を目的とした研修を開催しました。

(a) 期 日 6月19日(水)

(b) 開催形式 オンライン

(c) 参加者数 104名

(d) 内 容

講義「成年後見制度に関する基礎知識」

講師 公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート
(リーガルサポート宮崎県支部)

常任理事・司法書士 隈本 武 氏

講義「任意後見契約について」

講師 都城公証人役場

公証人 久保 朝則 氏

講義「成年後見申し立てに関する留意点」

講師 宮崎家庭裁判所後見センター

主任書記官 土持 恭昭 氏

講義「市町村申し立ての実務」

講師 宮崎市福祉部福祉総務課

主任主事 松岡 真一郎 氏

ウ 障がい者権利擁護センター事業

(ア) 使用者による障がい者虐待に関する通報件数 0件

(イ) 相談、相談機関のあつせん 14件

(ウ) 障がい者虐待を受けた障がい者の支援及び養護者に対する支援のための情報提供、助言、関係機関との連絡調整

a 障がい者虐待対応専門職チーム（県弁護士会、県社会福祉士会で構成）の派遣及び連携

(a) ケース会議への派遣 3件（6名）

- (b) 事前ケース会議の開催 3件(30名)
- (c) ファックス相談 13件(26名)
- (エ) 障がい者虐待防止・権利擁護研修事業

障がい者虐待の防止と迅速な対応を図ることを目的に、市町村職員及び障がい福祉サービス事業所等を対象とした研修を開催しました。

 - a 障がい者虐待防止・権利擁護市町村担当者研修
 - (a) 期 日 7月24日(水)
 - (b) 開催形式 オンライン
 - (c) 受講者数 32名
 - (d) 内 容 講義①「障害者虐待対応の基礎
～来てからでは遅い国家賠償請求～」
講師 障害者虐待対応専門職チーム
弁護士 牟田 圭佑 氏
 - 講義②「障害者虐待防止と通報後の対応について」
 - 講義③「障害者権利擁護と意思決定支援について」
講師 障がい者虐待対応専門職チーム
弁護士 土器屋 圭介 氏
 - b 共通研修
 - (a) 期 日 演習研修実施日前日まで
 - (b) 開催形式 オンデマンド
 - (c) 受講者数 424名
 - (d) 内 容 厚生労働省作成動画
県独自作成動画
「成年後見制度の概要、成年後見制度における権利擁護
と意思決定支援」
講師 合同会社恭美 相談サポート音 代表 末永 恭 氏
- (いずれか選択)
- c 障がい者福祉施設等における障がい者虐待の防止と対応研修
(管理者コース)
 - (a) 期 日 ①12月9日(月)
②1月21日(火)
※同一内容を2回実施
 - (b) 会 場 ①宮崎県福祉総合センター
②JAアズム本館
 - (c) 受講者数 ①86名 ②101名 (合計187名)
 - (d) 内 容 講義・演習「虐待が疑われる事案への対応」
講義・演習「身体拘束適正化委員会の運営」
講師 社会福祉法人奨禮会 障害者支援施設ハッピーヒル
施設長 三原 基秀 氏
講師 合同会社恭美 相談サポート音
代表 末永 恭 氏
(以下、ファシリテーター) ※両日及び1日参加
合同会社ポノ・リコライフ
就労継続支援事業所ポノ

代表 永住 徹志 氏
 社会福祉法人日章福祉会 日章野菊の里
 副園長 土器屋 圭介 氏
 宮崎リハビリテーションセンター
 施設長 前田 良一 氏
 社会福祉法人愛育福祉会
 延岡市北部地域機関相談支援センター
 主任相談支援専門員 佐藤 太朗 氏
 社会福祉法人巴会阿波岐原通所センター
 施設長 河野 信二 氏
 TSUNAGU 株式会社相談支援事業所 CONNECT
 管理者・相談支援専門員 川野 愛加那 氏
 一般社団法人もあい生活介護もあい
 代表理事 橋口 昌弘 氏
 株式会社 NEO FIRST
 取締役 石崎 友貴 氏
 社会福祉善仁会愛生園
 管理者 伊藤 博和 氏
 社会福祉法人エデンの園障害者支援施設エデンの園
 ゼネラルマネージャー 甲斐 さち子 氏
 特定非営利活動法人ふあむ・ふぁーむ
 理事長 渡邊 幸子 氏

d 障がい者福祉施設等における障がい者虐待の防止と対応研修
 (従事者コース)

(a) 期 日 ① 12月2日(月)

② 1月16日(木)

※同一内容を2回実施

(b) 会 場 ① 宮崎県福祉総合センター

② J Aアズム本館

(c) 受講者数 ① 100名 ② 137名 (合計237名)

(d) 内 容 講義・演習「虐待が疑われる事案への対応」

講義・演習「身体拘束適正化委員会の運営」

講師 一般社団法人もあい生活介護事業所もあい

代表理事 橋口 昌弘 氏

株式会社 NEO FIRST

取締役 石崎 友貴 氏

(以下、ファシリテーター) ※両日及び1日参加

社会福祉法人こころ

みやこのじょう総合相談支援センター系

センター長 米良 智子 氏

社会福祉法人日章福祉会 日章野菊の里

副園長 土器屋 圭介 氏

社会福祉法人善仁会

宮崎リハビリテーションセンター

施設長 前田 良一 氏
 社会福祉法人愛育福祉会
 延岡市北部地域機関相談支援センター
 主任相談支援専門員 佐藤 太朗 氏
 社会福祉法人善仁会 愛生園
 管理者 伊藤 博和 氏
 社会福祉法人エデンの園
 ゼネラルマネージャー 甲斐 さち子 氏
 社会福祉法人高鍋町社会福祉協議会
 高鍋町障がい者（児）等基幹相談支援センター
 主任相談支援専門員 竹原 祐二 氏
 特定非営利活動法人ふあむ・ふあーむ
 理事長 渡邊 幸子 氏
 社会福祉法人奨禮会 障害者支援施設ハッピーヒル
 施設長 三原 基秀 氏
 合同会社恭美 相談サポート音
 代表 末永 恭 氏
 社会福祉法人つよし会 つよし学園
 施設長 谷口 正純 氏
 社会福祉法人巴会 阿波岐原通所センター
 施設長 河野 信二 氏

- e 虐待防止センター担当職員等研修
 (a) 期 日 11月25日（月）
 (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
 (c) 受講者数 22名
 (d) 内 容 講義演習「施設従事者による障害者虐待の通報受理から虐待の判断」
 講師 小林市福祉課 主幹 平田 悟 氏
- f 障がい者虐待防止・権利擁護研修
 （共通研修のみ保育施設従事者及び医療機関及び特別支援学校の職員対象）
 (a) 期 日 2月14日（金）～3月14日（金）
 (b) 開催形式 オンデマンド
 (c) 受講者数 23名（アンケート回答者数）延べ視聴回数16回
 ※視聴回数よりアンケート回答者数が上回っており、複数名で同時に視聴していると考えられるため、正確な受講者数はカウント不可能。
 (d) 内 容 【共通講義】※厚生労働省作成動画
 【従事者等】※県独自作成動画
 「成年後見制度の概要、成年後見制度における権利擁護と意思決定支援」
 講師 合同会社恭美相談サポート音 代表 末永 恭 氏

エ 権利擁護推進体制強化事業

- (7) 法人後見支援員（市民後見人）養成研修
 社会貢献活動に意欲のある住民が、法人後見支援員（市民後見人）として活躍で

きるための知識・技術を習得することを目的に開催しました。

a 事前説明会

(a) 期 日 7月16日(火)、7月29日(月)

(b) 場 所 宮崎県福祉総合センターとオンラインのハイブリッド開催

(c) 参加者数 7月16日(13名)、7月29日(8名)

b 研修(基礎・実務)

(a) 期 間 10月7日(月)から2月21日(金)まで

(b) 場 所 宮崎県福祉総合センターとオンラインのハイブリッド開催

2月21日のみ 宮崎県農協会館 JA・AZM 大ホール

(c) 参加者数 17名

(d) 修了者数 16名

(e) 研修カリキュラム

I 基礎研修							
No.	月日 (曜日)	時 間	単位	科 目	講 師		
①	10/7 (月)	10:00～ 10:15	1	開講式、オリエンテーション			
②		10:20～ 11:20		成年後見制度概論		宮崎県弁護士会 弁護士 原田 真一 氏	
③		11:30～ 12:30		成年後見制度各論 ～法定後見・任意後見		宮崎県司法書士会 司法書士 隈本 武 氏	
④		13:30～ 15:00		1.5		市民後見概論	宮崎産業経営大学 教授 矢鋪 涉 氏
⑤		15:10～ 16:10		1		権利擁護支援と市町村責任	宮崎県 長寿介護課 主査 住吉 美保 氏
⑥	10/15 (火)	10:00～ 12:00	2	対人援助の基礎	宮崎県社会福祉士会 会長 末永 恭 氏		
⑦		13:00～ 14:00	1	障害者施策／障害者虐待防止法	宮崎県 障がい福祉課 専任主幹 黒木 健司 氏		
⑧		14:10～ 15:10	1	障害者権利条約・障害者差別解 消法	宮崎県 障がい福祉課 主事 満安 純一 氏		
⑨		15:20～ 16:20	1	日常生活自立支援事業について	宮崎県社協 安心生活部 部長 梶山 亮子		
⑩	10/21 (月)	10:00～ 11:00	1	介護保険制度	宮崎県 長寿介護課 主事 勝木 進太郎 氏		
⑪		11:10～ 12:10	1	高齢者施策／高齢者虐待防止法	宮崎県 長寿介護課 主査 住吉 美保 氏		
⑫		13:10～ 14:40	1.5	高齢者の理解、認知症の理解	宮崎県 長寿介護課 主任主事 甲斐 裕斗 氏		
⑬		14:50～ 15:20	0.5	公的医療保険制度	宮崎県 国民健康保険課 主幹 男成 健一 氏		
⑭		15:30～ 16:30	1	生活保護制度・生活困窮者自立 支援制度	宮崎県 福祉保健課 主任主事 筒井 宏 氏		

⑮	10/28 (月)	10:00～ 12:00	2	障がい者の理解	障がい者支援施設エデンの園 理事長 宇都宮 知敬 氏
⑯	10/28 (月)	13:00～ 13:30	0.5	年金保険制度	日本年金機構 宮崎年金事務所 お客様相談主任 桑山 涼子 氏
⑰		13:40～14:40	1	身上監護の実務	宮崎県社会福祉士会 社会福祉士 土寄 秀樹 氏
⑱		14:50～15:50	1	成年後見人の倫理	宮崎県社会福祉士会 社会福祉士 土寄 秀樹 氏
⑲		16:00～16:30	0.5	体験学習についての留意点	宮崎県社協 担当職員
⑳	11/5 (火)	10:00～ 12:00	2	家族法・財産法	宮崎県弁護士会 弁護士 近藤 央国 氏
㉑		13:00～ 13:30	0.5	消費者保護	宮崎県弁護士会 弁護士 緒方 哲也 氏
㉒		13:40～ 14:40	1	税務申告制度	南九州税理士会 宮崎県連合会 社会貢献対策部長 海野 理香 氏
㉓		14:50～ 16:20	1.5	中核機関等の実務と市民後見活動に対するサポート体制	高鍋町社協 こゆ成年後見センター 社会福祉士 合田 明美 氏
II 実務研修					
No.	月日 (曜日)	時 間	単位	科 目	講 師
①	11/11 (月)	10:00～ 12:00	2	意思決定支援	宮崎県社会福祉士会 会長 末永 恭 氏
		13:00～ 14:30	1.5	成年後見実務の基本視点	宮崎県司法書士会 司法書士 毛利 朋美 氏
		14:40～ 15:40	1	後見事務終了時の手続き／ 死後事務	宮崎県司法書士会 司法書士 毛利 朋美 氏
⑤ ⑥ ⑦	11/18 (月)	10:00～ 11:00	1	後見計画、収支予定の作成	宮崎県社会福祉士会 社会福祉士 大山 由美子 氏
		11:10～ 12:10	1	報告書の作成	宮崎県社会福祉士会 社会福祉士 大山 由美子 氏
		13:10～ 14:40	1.5	申立手続書類の作成	宮崎県司法書士会 司法書士 隈本 武 氏
		14:50～ 16:20	1.5	財産管理の実務／ 財産目録の作成	宮崎県司法書士会 司法書士 隈本 武 氏
⑧ ⑨	体験学習		2	支援業務同行（市民後見人の活 動体験）	日自、法人後見、専門職
		4	施設実習（2か所）	高齢者施設、障がい者施設	
⑩ ⑪	自宅レポート		1.5	体験実習の報告書作成	
		1.5	市民後見人像		
⑫	1/21 (火)	10:00～ 12:00	2	家庭裁判所の実際 (講義)	宮崎家庭裁判所 主任書記官 土持 恭昭 氏

⑬	2/20 (木)	9:45～15:45	5	事例報告と検討（フォローアップ研修と合同開催）	九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏
⑭		15:50～		閉講式(修了証書授与)	

(イ) 法人後見支援員（市民後見人）フォローアップ研修

法人後見支援員（市民後見人）養成研修で得た知識及びスキルの維持向上、並びに成年後見制度を取り巻く動向について学ぶことを目的として開催しました。

【フォローアップ研修1（第1回）】※法人後見専門員育成研修と合同

- a 期 日 1月20日（月）
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター及びオンラインのハイブリッド開催
- c 参加者数 40名
- d 内 容 実践報告「法人後見の取り組み①県内における社会福祉法人」
社会福祉法人MAG後見センター長 宇都宮 知敬 氏
「法人後見の取り組み②県外における社会福祉協議会」
大阪市成年後見支援センター
相談役 阪中 雅博 氏、会長 米澤 靖雄 氏
講義「対人援助職のための相談面接技術と記録」基礎編
講師 アアライ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子 氏

【フォローアップ研修1（第2回）】

- a 期 日 2月20日（木）
- b 場 所 宮崎県農協会館 JA・AZM 大ホール
- c 参加者数 48名
- d 内 容 講義「事例を通じて成年後見人の業務内容を学ぶ」
講師 九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏

【フォローアップ研修2】

- a 期 日 3月10日（月）
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター
- c 参加者数 29名
- d 内 容 講義「対人援助職のための相談面接技術と記録」実践編
講師 アアライ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子 氏

(ウ) 法人後見専門員育成研修

市町村行政、市町村社協を対象に、「法人後見」受任に関する行政や市町村社協の役割や体制整備、法人後見の実務及び法人後見専門員として法人後見支援員への指導・助言に必要な基本的知識を学ぶことを目的に開催しました。

- a 期 日 1月20日（月）※【フォローアップ研修1第1回】と合同
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター及びオンラインのハイブリッド開催
- c 参加者数 19名
- d 内 容 実践報告「法人後見の取り組み①県内における社会福祉法人」
社会福祉法人MAG後見センター長 宇都宮 知敬 氏
「法人後見の取り組み②県外における社会福祉協議会」
大阪市成年後見支援センター
相談役 阪中 雅博 氏、会長 米澤 靖雄 氏
講義「対人援助職のための相談面接技術と記録」基礎編
講師 アアライ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子 氏

(エ) 意思決定支援研修会

意思決定支援ガイドラインを踏まえた上で、成年後見制度の基礎知識を習得するとともに、本人の意志を尊重した支援の実践につなげられるよう、具体的な事例やノウハウを共有することを目的に開催しました。

- a 期 日 12月16日(月)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター人材研修館4階 大研修室
- c 参加者数 28名
- d 内 容 講義・演習「楽しい意思決定支援の実践とそれを支えるもの
～障がいを疑われる方たちへの意思決定支援
すなわち自分や自分の大事な人たちへの意志決定支援～」
一般社団法人 日本意思決定支援ネットワーク
理事 福崎 はる 氏

(オ) 法人後見受任体制整備に係る市町村支援

県内に事務所を有する社会福祉法人を対象に、法人後見等の事業への参画を図ることを目的に、東諸県郡において新たな担い手確保(法人後見等)に関する意見交換会を実施しました。

- a 期 日 3月19日(水)
- b 場 所 社会福祉法人MAG法人本部2階 会議室
- c 参加者数 13名(社会福祉法人MAG、県長寿介護課、国富町、国富町社会福祉協議会、綾町、綾町社会福祉協議会)
- d 内 容 東諸県郡における法人後見等の実施状況について

(カ) 法人後見支援員育成に係る市町村支援

単独で法人後見支援員(市民後見人)養成を行う中核機関や行政に対し、養成研修に関するノウハウや修了者の活動状況について情報提供を行いました。

(キ) 市民後見人活動支援の調査研究

養成研修修了者の活動状況調査を実施し、問題点や課題を整理しました。

カ 単身高齢者終活支援事業

少子高齢化が進行する中、地域では高齢者の暮らしにおけるさまざまな相談が寄せられており、単身高齢者の死後の不安をなくし、住み慣れた地域で最期まで安心して暮らすことができる地域づくりを図るため、高齢者終活支援事業の普及啓発に努め、実施に向けた具体的な取組について検討しました。

また、単身高齢者等への支援事業を検討している市町村社協と個別に情報交換を行い、現在の状況等を確認し、今後のすすめ方等について協議を行いました。

(ア) 単身高齢者終活支援普及研究会

- a 期 日 (1回目)8月7日(水)(2回目)12月23日(月)
(3回目)3月17日(月)
- b 会 場 (1回目)宮崎県福祉総合センター
(2回目)宮崎県福祉総合センター
(3回目)オンライン
- c 参加者数 (1回目)6社協10名 (2回目)7社協12名
(3回目)8社協14名

(イ) アドバイザーの設置

死後事務委任契約やその他必要になる事業内容について、専門家の立場でアドバイスを受けました。

アドバイザー 司法書士・社会保険労務士くまもと事務所
司法書士・社会保険労務士 隈本 武 氏
(ウ) 意見交換・情報交換（3市町村）

(3) 福祉サービスの適切な運営に向けた取組の推進

福祉サービスに関する利用者等からの苦情や相談について適切な対応に努めました。
また、事業所段階における自主的な苦情解決が円滑に行われるよう県内事業所を対象に苦情解決体制整備状況を調査し、その結果をHPや報告書により事業所へフィードバックするとともに、セミナー（動画配信研修会）や事業所への巡回訪問を行うなど苦情解決制度等の理解促進を図りました。
さらに、日常生活自立支援事業の適正な運営確保に向けて市町村社協への訪問調査を実施しました。

《実施事業》

ア 選考委員会委員の選任

運営適正化委員会委員を選考する選考委員会委員の任期満了に伴い、委員の選任を7月に実施しました。

イ 運営適正化委員会委員の選考

運営適正化委員会委員の任期満了に伴い、選考委員会を7月に実施しました。

ウ 運営適正化委員会

9月に令和5年度の事業実施状況等を、また、3月には令和7年度の事業計画などについてそれぞれ協議を行いました。

エ 苦情解決部会

6月、2月に部会を開催しました。
また、電話やメール等により委員会に寄せられた苦情案件などについて、相談・助言等を行いました。
さらに、事業所における苦情解決体制の整備及び苦情が申しやすい環境づくりに向けて、4事業所を対象に巡回訪問を実施しました。

オ 運営監視部会

6月、9月、3月に部会を開催しました。
また、日常生活自立支援事業が円滑に推進されるよう13市町村社協を対象に訪問調査を実施しました。

カ 広報・啓発・調査事業

事業所における福祉サービスの質の向上を目指し、利用者などから声が出やすい環境を整備するため広報啓発や調査事業に取り組みました。

(ア) 令和6年度福祉サービス苦情解決体制整備状況調査

県内の高齢者福祉分野の事業所を対象に、苦情解決体制整備状況調査を行いました。

(イ) 福祉サービス苦情解決体制整備状況調査報告書の配布等

令和6年度に高齢者福祉分野を対象に実施した当該調査結果をホームページに

掲載し、その周知等に努めるとともに、回答をいただいた事業所に報告書を配布しました。

(ウ) 令和5年度事業報告書等を社協情報誌、ホームページに掲載しました。

キ 研修事業

苦情解決責任者、苦情受付担当者及び第三者委員などを対象に「福祉サービス苦情解決セミナー」を動画配信等により実施しました。

(ア) 期日等

期 日	参加事業所数等
(a) 1月27日(月)～2月28日(金)	232事業所
(b) 3月24日(月)	25名

(イ) 内 容

(a) 講 演

「苦情を生まない対応・苦情に対する対応」

(b) 実践研修

フォローアップセミナー

講 師

株式会社ツクイスタッフ パートナー講師 喜山 志津香 氏

ク 巡回訪問事業（再掲）

事業所段階における自主的な苦情解決が適切に行われるよう事業所の求めに応じ、4事業所を訪問し苦情解決体制の整備などについて助言を行いました。

[苦情解決事業の利用実績]

(ア) 受付件数（令和6年4月1日～令和7年3月31日までの実数）

電 話		来 所		FAX		電子メール		郵 便		その他		合 計	
苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
43	4	8	0	1	0	3	0	0	0	0	0	55	4

注：その他＝問い合わせ・相談など、苦情に至らなかったもの。

(イ) 苦情申出人等（令和6年4月1日～令和7年3月31日までの実数）

区 分	利用者		家 族		代理人		職 員		隣人・友人		その他		合 計	
	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他	苦情	その他
高齢者	2	0	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	11	1
障がい者	18	1	11	0	0	0	3	2	0	0	1	0	33	3
児 童	0	0	7	0	0	0	2	0	0	0	0	0	9	0
その他	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
合 計	22	1	27	0	0	0	5	3	0	0	1	0	55	4

注：その他＝問い合わせ・相談など、苦情に至らなかったもの

(ウ) 苦情内容・解決の結果等（令和6年4月1日～令和7年3月31日までの実数）

苦情の相手先	区 分	苦情受付件数	苦 情 解 決 の 結 果							
			① 相 談 ・ 助 言	② 紹 介 ・ 伝 達	③ あ っ せ ん	④ 通 知	⑤ そ の 他	⑥ 継 続 中	⑦ 意 見 ・ 要 望	
高 齢 者	① サービス内容（職員の接遇）	0								
	② サービス内容（サービスの質や量）	2	1	1						
	③ 利用料	0								
	④ 説明・情報提供	5	5							
	⑤ 被害・損害	3	3							
	⑥ 権利侵害	1		1						
	⑦ その他	0								
障 が い 者	① サービス内容（職員の接遇）	10	8	2						
	② サービス内容（サービスの質や量）	2	2							
	③ 利用料	0								
	④ 説明・情報提供	6	6							
	⑤ 被害・損害	3	3							
	⑥ 権利侵害	11	10	1						
	⑦ その他	1	1							
児 童	① サービス内容（職員の接遇）	3	2	1						
	② サービス内容（サービスの質や量）	0								
	③ 利用料	0								
	④ 説明・情報提供	2	2							
	⑤ 被害・損害	0								
	⑥ 権利侵害	4	3	1						
	⑦ その他	0								

その他	① サービス内容（職員の接遇）	1	1						
	② サービス内容（サービスの質や量）	0							
	③ 利用料	0							
	④ 説明・情報提供	1		1					
	⑤ 被害・損害	0							
	⑥ 権利侵害	0							
	⑦ その他	0							
合計	① サービス内容（職員の接遇）	14	11	3	0	0	0	0	0
	② サービス内容（サービスの質や量）	4	3	1	0	0	0	0	0
	③ 利用料	0	0	0	0	0	0	0	0
	④ 説明・情報提供	14	13	1	0	0	0	0	0
	⑤ 被害・損害	6	6	0	0	0	0	0	0
	⑥ 権利侵害	16	13	3	0	0	0	0	0
	⑦ その他	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計		55	47	8	0	0	0	0	0

注1) 「苦情」の区分と例示

- ① サービス内容（職員の接遇）＝職員の対応や言葉づかいが悪い。
- ② サービス内容（サービスの質や量）＝食事の内容が悪い。居室の環境が悪い。
- ③ 利用料＝不当な自己負担を求められた。自己負担額の内容が説明されていない。
- ④ 説明・情報提供＝説明なくサービス内容が変更された。重要事項説明書や契約書と実際のサービスが違っていた。
- ⑤ 被害・損害＝預り金など金銭のトラブルがあった。所有物がなくなった、破損した。
- ⑥ 権利侵害＝暴力や虐待を受けた。プライバシーを侵害された。
- ⑦ その他＝上記にあてはまらない事項。

問い合わせ・相談など、苦情に至らなかったもの。

注2) 「苦情解決の結果」の区分と例示

- ① 相談・助言＝運営適正化委員会事務局・委員会による助言・相談により終了。
- ② 紹介・伝達＝他の専門機関への紹介、行政機関への伝達により終了。
- ③ あっせん＝運営適正化委員会によるあっせんにより終了。
- ④ 通知＝宮崎県知事への通知により終了。
- ⑤ その他＝運営適正化委員会が改善申し入れを行ったものや、申出人から取り下げられたもの、立ち入り調査ができなかったものなど、上記①～④以外の方法で終了。
- ⑥ 継続中＝苦情解決に至らず継続中のもの。
- ⑦ 意見・要望＝法令や制度に対する苦情・要望など、上記①～⑥以外のもの。

4 良質な福祉サービスを提供する基盤づくりの推進

(1) 福祉人材の確保

福祉・介護サービス分野における安定的な人材の確保を図るため、求職相談や求人情報誌の発行、体験学習などを通して求職者の支援に努めるとともに、福祉の仕事出前講座やガイドブックの作成など、次世代の人材確保に向けた取組を行いました。また、SNS広告、新聞、ホームページ等の広報媒体による福祉人材センター及び福祉の仕事の周知に努めました。

《実施事業》

ア 福祉人材センター運営事業

- (ア) 福祉人材・研修事業運営委員会の開催
- a 期 日 2月4日(火)
 - b 出席者数 12名
 - c 内 容
 - (a) 令和6年度事業実施状況について
 - (b) 令和7年度事業計画(案)について
- (イ) 関係機関・団体等との連絡調整(求人、求職に関する情報収集、提供等)
- a 宮崎県長寿介護課
宮崎県介護人材確保推進協議会
 - b 宮崎労働局職業安定部
みやざき医療介護分野人材確保対策推進協議会
 - c 宮崎県雇用労働政策課
みやざき女性・高齢者就業促進協議会
 - d 公益社団法人宮崎県看護協会
宮崎県ナースセンター運営委員会
 - e 公益財団法人介護労働安定センター宮崎支部
介護労働懇談会

イ 福祉人材無料職業紹介事業

- (ア) 求人、求職窓口相談業務
登録・就職状況

	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新規求人数	2,557	2,523	2,386	2,576	3,232	3,044	2,357
新規求職者数	598	566	485	469	500	563	431
就職者数	192	162	160	137	161	171	148

- (イ) 求職者への情報提供
- a 求人情報誌の発行
求人に関する「求人情報誌」を毎月作成し、求職登録者や相談者等に提供
 - b インターネット(福祉人材情報システム)による求人情報の提供
 - c 求職登録者への電話・郵送等による求人情報の個別案内
- (ウ) 求人・求職の基本データ集計

ウ 講習会等開催事業

- (ア) 福祉の職場見学
事業所の見学を希望する求職者に対して、事業所と見学日を調整しました。
- a 協力施設数 166か所(延べ)
 - b 見学者数 152人(延べ)
- (イ) 福祉の職場体験学習
- a 体験施設/日数 1人3施設まで/1施設3日以内
 - b 協力施設数 16施設
高齢者分野 12施設、障がい者分野 3施設、
その他 1施設

- c 体験者数 19名
学生6名、一般13名
- d 就職者数 9名
高齢者分野 7名、障がい者分野 2名
- (ウ) 福祉・介護の仕事従事希望者への相談等
 - a ハローワーク等で行う面接会への参加、相談コーナーの設置
8月20日(火) 介護就職ミニ面接会(ハローワーク都城)
11月6日(水) 介護・看護就職デイ「就職面談会」(ハローワーク宮崎)
11月18日(月) 介護就職デイ面接会(ハローワーク都城)
 - b 県等が主催する就職面接会等への参加、相談コーナーの設置
 - (a) シニア世代対象就職面談会
9月13日(金) 都城地区、 9月18日(水) 延岡地区
9月20日(金) 宮崎地区
 - (b) 女性活躍応援就職面談会 働き方相談会
11月26日(火) 宮崎市
 - (c) 宮崎ひなた暮らし移住相談会
10月6日(日) 東京都
12月15日(日) 大阪府
 - c 介護福祉士養成校や初任者研修等実施事業者が行う講習会等での説明会
 - ・6月6日(木) 宮崎福祉医療カレッジ社会福祉士学科
 - ・7月2日(火)、11月18日(月) 介護労働安定センター
 - ・11月19日(火) ニチイ学館
 - ・1月30日(木) 日建学院
 - d 介護に関する入門的研修での就労ガイダンス
 - ・10月4日(金) 西都・児湯
 - ・11月1日(金) 日南・串間
 - ・12月6日(金) 都城・北諸県
 - ・12月16日(月) 日向・入郷
 - ・1月27日(月) 宮崎・東諸県
 - ・2月10日(月) 延岡・西臼杵
 - ・2月21日(金) 西諸県
 - e 離職介護福祉士等再就業支援講習会での就業ガイダンス
 - ・7月27日(土)、9月14日(土)、12月21日(土) 宮崎市
 - 9月28日(土) 延岡市
 - 12月14日(土) 都城市

エ 福祉人材確保相談事業

- (ア) 福祉事業所を訪問し、求人や職員充足の状況、人材確保の取組等について話を伺いました。

相談実績 事業所：12か所

- (イ) 福祉人材定着支援セミナー

- a 期 日 12月12日(木)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター セミナールーム
- c 参加者数 60名
- d 講 師 合同会社 介護の未来 代表 阿部 充宏 氏
- e 内 容 「元特養施設長の失敗談より人材定着を考える」

オ 広報啓発事業

- (ア) Web 広告（SNS 広告・リスティング広告）の配信
- (イ) 福祉の仕事・資格ガイドブックの作成
- (ウ) 本会ホームページによる広報

カ 福祉人材確保重点事業

- (ア) 福祉のしごと就職フェア
 - a 期 日 7月22日（月）
 - b 場 所 宮崎観光ホテル 東館3階「光耀」
 - c 参加者数 202名
 - d 参加法人数 79法人
- (イ) 福祉のしごと就職フェア in 小林
 - a 期 日 10月30日（水）
 - b 場 所 小林中央公民館
 - c 参加者数 30名
 - d 参加法人数 21法人
- (ウ) 福祉のしごと就職フェア in 日向
 - a 期 日 11月29日（金）
 - b 場 所 ホテルベルフォート日向
 - c 参加者数 26名
 - d 参加法人数 24法人

キ 離職介護福祉士等届出事業

- (ア) 目的
介護分野から離れている介護福祉士や一定の知識・技能を有する介護職員（離職介護人材）を把握し、求人情報や研修に関する情報等を提供し、再就業を促進・支援することを目的として実施しました。
- (イ) 届出対象者
 - a 介護福祉士
 - b 介護福祉士実務者研修、介護職員初任者研修、旧介護職員基礎研修、旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程、入門的研修を修了された方
- (ウ) 届出方法
 - a インターネット（福祉人材情報システム）による届出
 - b 福祉人材センター窓口での届出
- (エ) 制度の周知・啓発
 - a 宮日生活情報誌（きゅんと）掲載
介護従事者の仕事内容やコメントを紹介し、介護の魅力の発信と介護人材の就労支援を図りました（年2回）。
 - b 市町村広報紙掲載（8市町村）
 - c SNS を活用した動画・静止画の配信
Instagram、Facebook で制度周知のための広報を行いました。
 - (a) 配信期間 1月10日（金）から2月28日（金）
 - (b) 表示回数 1,185,983回<クリック数1,377回>
Instagram：809,802回<857回>

- (オ) 届出実績
 - a 届出者 87名
 - (a) 介護福祉士 42名
 - (b) 介護福祉士以外 45名

ク みやぎの福祉を支えるひなたの人材確保推進事業

- (ア) 教材の作成・配布
 - a 内容

出前講座の教材、あるいは学校での福祉教育の教材としても使えるガイドブックを作成し、県内のすべての小学校（6年生）、中学校（2年生）、高等学校（2年生）に配布しました。
 - b 作成部数 35,000部
 - 小学生版 11,500部
 - 中学生・高校生版 23,500部
- (イ) ホームページ・動画の作成

若い世代を対象としたホームページ及び福祉の仕事を紹介した動画を作成しました。

福祉の仕事魅力発見サイト「みやぎのふくしごと」
(URL : <https://miyazaki-fukushigoto.com>)
- (ウ) 「福祉の仕事」出前講座
 - a 内容

中学生や高校生を対象に、「福祉の仕事」のやりがいや魅力、仕事の内容や必要とする資格などについて、実際に福祉の職場で働いておられる職員の方や福祉人材センター職員から説明しました。また、希望者にはオンラインによる事業所見学を実施し、施設内の様子や仕事内容等について施設職員から説明していただき、福祉の仕事について理解促進を図りました。
 - b 実績
 - (a) 開催実績 30回（中学校15回、高校15回）
 - (b) 学校内訳

	開催日	開催校	学年	参加者数	講師
1	5月10日	国富町立八代中学校	3	22	介護福祉士：特別養護老人ホーム住之江 保育士：三名こども園 理学療法士：デイサービス未来図 社会福祉士：宮崎県福祉人材センター
2	6月6日	高鍋町立高鍋西中学校	3	88	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター オンライン施設見学会：特別養護老人ホーム幸楽荘
3	6月20日	都城市立夏尾中学校	3	5	介護福祉士：特別養護老人ホーム豊望園 理学療法士：都城リハビリテーション学院 社会福祉士：宮崎県福祉人材センター
4	7月8日	宮崎県立門川高等学校	1	20	介護福祉士：ふれあいの里 介護福祉士：もみじの里 介護福祉士：グループホープなごみ

	開催日	開催校	学年	参加者数	講師
5	7月11日	高鍋町立高鍋西中学校	3	88	保育士・臨床心理士：金鈴学園 精神保健福祉士：グループホームありあ 作業療法士：こどもリハビリステーション
6	7月19日	延岡市立西階中学校	1	100	保育士：松山保育園 社会福祉士：延岡南方地域包括支援センター 理学療法士：のべおか老健あたご
7	8月6日	宮崎県立都城農業高等学校	3	40	介護福祉士：星空の都なかごうハーモニー 保育士：下長飯保育園 作業療法士：宮崎保健福祉専門学校
8	9月6日	日南市立吾田中学校	3	136	介護福祉士：グループホーム杉の湯荘 保育士：にちなん保育園 理学療法士：みどりの丘 作業療法士：こどもリハビリステーション
9	10月19日	宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校	1・2	142	精神保健福祉士：おおぞら園 理学療法士：働くデイサービスセンターほほえみの園 作業療法士：こどもリハビリステーション 臨床心理士：金鈴学園
10	10月21日	宮崎県立都城きりしま支援学校高等部	2・3	8	介護福祉士：豊心福祉学園
11	11月14日	新富町立田園の里新田学園 (新田中学校)	1	40	介護福祉士：特別養護老人ホーム幸楽荘 理学療法士：デイサービス未来図 車椅子介助体験：(株)カクイックスウイング
12	1月17日	宮崎市立東大宮中学校	1	199	介護福祉士：特別養護老人ホーム皇寿園 保育士：飛江田保育園 理学療法士：デイサービス未来図 社会福祉士：うからの里高鍋事業所 作業療法士：宮崎保健福祉専門学校 精神保健福祉士：グループホームありあ
13	1月21日	宮崎県立児湯るびなす支援学校高等部	2・3	14	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 介護福祉士：特別養護老人ホーム皇寿園 車椅子介助体験：(株)池部医療器
14	1月22日	宮崎県立本庄高等学校	2	21	オンライン施設見学：特別養護老人ホームわにつか荘 施設見学：介護テクノロジーショールーム 福祉用具体験：株式会社ウエルライフ
15	1月24日	宮崎市立櫛中学校	1	212	介護福祉士：特別養護老人ホーム皇寿園 保育士：天ヶ城保育園 社会福祉士：うからの里高鍋事業所 精神保健福祉士：グループホームありあ 理学療法士：デイサービス未来図 作業療法士：こどもリハビリステーション
16	1月25日	宮崎県立宮崎北高等学校	1・2	28	社会福祉士：宮崎リハビリステーション 臨床心理士：金鈴学園

	開催日	開催校	学年	参加者数	講師
17	2月6日	宮崎県立宮崎農業高等学校	1	40	介護福祉士：特別養護老人ホームわにつか荘 保育士：飛江田保育園 作業療法士：こどもリハビリステーション
18	2月7日	高千穂町立高千穂中学校	2	90	介護福祉士：特別養護老人ホーム住之江 社会福祉士：延岡市南方地域包括支援センター 理学療法士：介護医療院神楽苑
19	2月21日	日章学園九州国際高等学校	1・2	12	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 社会福祉士：放課後等デイサービス事業所 Ao 精神保健福祉士：一路会
20	2月19日	日向市立東郷中学校若竹分校	1・2	6	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 介護福祉士：特別養護老人ホーム幸楽荘 車椅子介助体験：日向市社会福祉協議会
21	2月21日	木城町立みどりの社 木城学園	8	48	介護福祉士：うからの里高鍋事業所 理学療法士：訪問看護ステーション coconoki 臨床心理士：金鈴学園
22	2月26日	宮崎県立飯野高等学校	1	15	オンライン施設見学：特別養護老人ホーム八幡の里 言語聴覚士：児童発達支援事業所 Ohana 社会福祉士：宮崎県福祉人材センター
23	2月28日	宮崎市立宮崎西中学校	2	189	介護福祉士：特別養護老人ホーム皇寿園 社会福祉士：宮崎リハビリテーションセンター 精神保健福祉士：グループホームありあ 理学療法士：デイサービス未来図 作業療法士：宮崎保健福祉専門学校
24	3月6日	高千穂町立上野中学校	1・2・3	24	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 介護福祉士：特別養護老人ホーム住之江 理学療法士：介護医療院神楽苑 福祉体験：高千穂町社会福祉協議会
25	3月6日	綾町立綾中学校	2	60	保育士：天ヶ城保育園 理学療法士：デイサービス未来図
26	3月10日	宮崎県立富島高等学校	1	37	オンライン施設見学：特別養護老人ホーム わにつか荘
27	3月12日	宮崎県立高城高等学校	1	40	オンライン施設見学：特別養護老人ホーム わにつか荘
28	3月17日	宮崎県立延岡工業高等学校	2	40	オンライン施設見学：特別養護老人ホーム わにつか荘
29	3月19日	宮崎県立みやざき中央支援 学校高等部	2	8	社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 介護福祉士：特別養護老人ホーム皇寿園 車椅子介助体験：(株) 池部医療器

	開催日	開催校	学年	参加者数	講師
30	3月21日	宮崎県立宮崎南高等学校	1・2	33	保育士：飛江田保育園 社会福祉士：宮崎県福祉人材センター 精神保健福祉士：グループホームありあ 理学療法士：デイサービス未来図 作業療法士：こどもリハビリステーション 臨床心理士：金鈴学園
計				1,805名	

c ガイドブックを活用して市町村社協等が行った福祉教育

	実施日	実施社協名	学校名等	学年	人数
1	5月21日	西米良村社協	西米良村立村所小学校	4	9
2	5月29日	高鍋町社協	高鍋町立高鍋東小学校	6	116
3	6月24日	宮崎市社協	宮崎市立佐土原小学校	3	35
4	7月8日	串間市社協	串間市立有明小学校	3・4	10
5	8月5日	高鍋町社協	高鍋町社協 認知症講座	小中学生	2
6	8月8日	高鍋町社協	高鍋町社協 手話講座	小中学生	6
7	9月13日	串間市社協	串間市立串間中学校	3	27
8	11月16日	宮崎市社協	高岡支所 高岡ふくしの集い	小学2・3・4	21
9	11月25日	日南市社協	日南学園高等学校	1・2・3	30
10	1月9日	川南町社協	川南町立国光原中学校	1	58
11	1月29日	宮崎市社協	宮崎市立那珂小学校	3	50
12	2月10日	宮崎市社協	宮崎市立広瀬西小学校	3	52
計					416

ケ 介護支援専門員実務研修受講試験

- (ア) 期 日 10月13日(日)
- (イ) 場 所 南九州大学、シーガイアコンベンションセンター
- (ウ) 申込者数 726名
- (エ) 受験者数 652名
- (オ) 合格者数 165名
- (カ) 合格率 25.3%

コ 義務教育教員免許取得志願者介護等体験事業

義務教育教員免許取得志願者は、福祉施設や養護学校等での介護等体験が義務化されていることから、本会において社会福祉施設等への体験実習の受入調整を実施しました。

- (ア) 参加大学等 県内外の大学・短大13校
- (イ) 参加学生数 95名
- (ウ) 協力施設数 高齢者施設・障害者施設・児童福祉施設等 59施設

サ 介護福祉士修学資金等貸付事業

地域の福祉・介護人材の育成及び確保並びに定着を支援することを目的として次の(ア)から(エ)に掲げる事業を実施しました。

(ア) 介護福祉士修学資金貸付事業

県内外の介護福祉士養成施設に在学し、介護福祉士の資格の取得を目指す学生に対して修学資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	11	14,281,600 (8,000,800)
継続	14	(9,514,400)
合計	25	14,281,600 (17,515,200)

(イ) 社会福祉士修学資金貸付事業

社会福祉士養成施設に在学し、社会福祉士の資格の取得を目指す学生に対して修学資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	4	3,100,000 (2,560,000)
継続	1	0 (60,000)
合計	5	3,100,000 (2,620,000)

(ウ) 福祉系高校修学資金貸付事業

福祉系高校に在学し、介護福祉士の資格の取得を目指す高校生に対して修学資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	10	4,030,000 (1,110,000)
継続	3	(410,000)
合計	13	4,030,000 (1,520,000)

(エ) 介護分野就職支援金貸付事業

他業種で働いていた方が、新たに介護分野における介護職として就職するにあたって必要な資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額
新規	10	4,200,000

(ウ) 障害福祉分野就職支援金貸付事業

他業種で働いていた方が、新たに障害福祉分野における障害福祉職として就職するにあたって必要な資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額
新規	6	1,200,000

(カ) 介護福祉士実務者研修受講資金貸付事業

介護福祉士の資格取得を目指し、介護福祉士実務者研修を受講される方に対して受講資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額
新規	49	9,042,940

(キ) 離職した介護人材の再就職準備金貸付事業

介護職としての一定の知識及び経験を有する離職者が、介護職として再就職をするにあたって必要な費用について貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額
新規	4	1,600,000

シ 保育士修学資金貸付等事業

保育人材の確保を図ることを目的として次の(ア)から(ウ)の事業を実施しました。

(ア) 保育士修学資金貸付事業

県内外の保育士養成施設に在学し、保育士の資格取得を目指す学生に対して修学資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	105	132,672,300 (54,314,300)
継続	84	(51,569,800)
合計	189	132,672,300 (105,884,100)

(イ) 未就学児を持つ保育士に対する保育料の一部貸付事業

新たに勤務する保育士等及び産後休暇又は育児休業から復帰する保育士等のうち未就学児を持つ保育士等に対して保育料の一部を貸し付けました。

(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	20	3,120,400 (2,468,925)
継続	15	(1,290,700)
合計	35	3,120,400 (3,759,625)

(ウ) 就職準備金貸付事業

保育士有資格者が就職又は再就職する場合の準備に必要な資金を貸し付けました。(円)

貸付決定		
区分	貸付件数	貸付決定金額 (令和6年度送金額)
新規	16	3,200,000 (3,000,000)

ス 民間社会福祉施設等従事職員共済制度事業

(ア) 退職金・附加給付金の支給

a 退職金支給状況

件数	支給額
1,261	827,482,735円

b 附加給付金支給状況

種別	件数	支給額
長期加入加算金	156	23,800,000円

(イ) 制度の適正運営

a 運営委員会の開催

5月28日(火)、11月6日(水)、2月20日(木)

b 事務説明会の実施

(a) 期 日 令和7年3月

(b) 方 法 オンデマンド配信

(c) 内 容

講義 「会計・税務処理について」 税理士法人アイビーパートナーズ
代表社員 飯田 三和 氏

報告 「資金運用状況報告」 りそな銀行

説明 「事務手続きについて」

宮崎県社会福祉協議会 総務企画部企画課

「福利厚生の実現に向けて～ソウエルクラブの活用について

～」宮崎県社会福祉協議会 総務企画部企画課

c 制度の周知、加入促進

本会ホームページや機関紙等により、情報提供に努めました。

(a) 共済契約者数：323か所

(b) 加入者数：11,091名(令和7年3月31日現在)

(ウ) 資産の適正な管理運用

a 運用基本方針に基づき適正な資産管理に努めました。

b 運営委員会、事務説明会にて運用状況についての報告を行いました。

セ 社会福祉施設職員等退職手当共済制度事業

退職金請求等事務の実施

ソ 福利厚生センター「ソウエルクラブ」地方事務局事業

(ア) 加入等促進活動事業の実施

a 加入状況(令和7年3月31日時点)

63法人 176施設 4,004名

b 広報誌を活用した福利厚生啓発

c ソウエルクラブのパフレット配布と併せて説明会を実施しました。

(4) 会員交流事業の実施

宿泊を伴う事業、日帰り事業、施設利用事業の実施 14企画

参加者 会員及び会員の家族 2,082名

(2) 福祉人材の育成と福祉サービスの質の向上

社会福祉事業に従事している現任の職員等を対象に、体系的かつ段階的な研修や種別協議会における分野別の専門研修を実施し、福祉人材の育成や資質の向上等に努めるとともに、社会福祉法人等の経営を支援しました。

《実施事業》

ア 社会福祉研修センター事業

77本の研修を実施し、延べ5,471名の受講を得ました。

(ア) 社会福祉行政従事者研修 (2本：58名)

(イ) 地域福祉推進者研修 (3本：185名)

(ウ) 社会福祉事業等従事者研修 (69本：5,075名)

a 新任職員研修 (2本)

b 初任者研修 (19本)

c 中堅職員研修 (24本)

d チームリーダー研修 (18本)

e 管理職員研修 (6本)

(エ) 社会福祉法人役員研修 (3本：153名)

イ 社会福祉経営支援セミナー事業

7本の研修を実施し、188名の参加を得ました。

(ア) 労務管理コース (4本：117名)

(イ) 財務管理コース (3本：71名)

令和6年度社会福祉研修センター事業実績報告（77本）

No.	研 修 名				定員	修了者数	受講者延人数
	期日	研修科目	時間	講 師			
1 社会福祉行政従事者研修（3本）							
福祉事務所生活保護ケースワーカー研修・福祉事務所生活保護スーパーバイザー研修・福祉事務所等相談員研修 基本編							
001	7/5 (金)	<input type="checkbox"/> 相談援助機関の対人援助者に求められる「基本姿勢」と留意すべき「7つの原則」 <input type="checkbox"/> 必要となる基本的な知識とスキル	5.0	九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏	80	34	34
【中止】福祉事務所生活保護ケースワーカー研修・福祉事務所生活保護スーパーバイザー研修 応用編							
002	2/18 (火)	<input type="checkbox"/> 適切な援助方針策定のためのポイント <input type="checkbox"/> 策定した援助方針の評価・見直しのためのポイント	5.0	九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏	50	0	0
福祉事務所等相談員研修 応用編							
003	9/19 (木)	<input type="checkbox"/> 情報収集・ニーズ把握のためのポイント <input type="checkbox"/> 問題解決に向けた有効な社会資源の紹介や繋ぎのポイント	5.0	九州医療科学大学 教授 川崎 順子 氏	40	24	24
2 地域福祉推進者研修（3本）							
民生委員児童委員協議会会長研修							
004	1/28 (火)	<input type="checkbox"/> 宮崎県における想定災害の特徴や傾向、防災・減災への取組状況 <input type="checkbox"/> 災害時に民生委員児童委員に期待される役割等	1.5	宮崎県危機管理局危機管理課 防災企画担当 主任主事 山下 展弘 氏	112	102	102
民生委員児童委員研修							
005	6/1 (土) ～ 11/30 (土)	「把握し、つなぎ、見守る」を推進しよう！～活動の再確認とさらなる前進のために～ <input type="checkbox"/> 民生委員児童委員の職務と役割の理解 <input type="checkbox"/> 民生委員児童委員としての心構えの理解 <input type="checkbox"/> 活動上必要な基礎知識等	1.5	合同会社泉恵造研修企画工房 代表社員 泉 恵造 氏（千葉県）	-	462	-
主任児童委員研修							
006	10/25 (金)	「地域で孤立しがちな子どもと親の支援活動（今年度は子どものスマホ依存、ネット依存の視点から考察します）」 <input type="checkbox"/> 地域における諸課題と主任児童委員への期待 <input type="checkbox"/> 支援活動推進上の問題と抽出 <input type="checkbox"/> 支援活動の推進策作成	4.0	株式会社エイテル研究所 人材育成支援部 チーフコーディネーター 増田 直哉 氏 (東京都)	112	83	83
3 社会福祉事業等従事者研修（新任職員研修 2本）							
福祉職員スタートアップ研修（高齢者）（障がい児・者）							
007	5/23 (木)	「信頼される職業人であるために～社会人としての心構え～」 <input type="checkbox"/> 学生時代と社会人の違い <input type="checkbox"/> プロ意識を持つ（仕事の實力、仕事観、組織の力） <input type="checkbox"/> コミュニケーションの取り方（価値観、さく（聴・聞・訊）、話すコツ演習） <input type="checkbox"/> 仕事の進め方（指示・命令の受け方、報告・連絡・相談の行い方） <input type="checkbox"/> コンプライアンスの重要性	5.0	接遇マナーインストラクター 長峰 ヒロ子 氏	80	50	218
	5/24 (金)	「ビジネスマナーの習得」 <input type="checkbox"/> マナーの重要性 －マナーとは、マナーの果たす役割、印象について－ <input type="checkbox"/> マナー実践 －あいさつ、言葉づかい、表情、身だしなみ、電話応対 等－	5.0	宮崎太陽銀行 人事部地域人材育成室 室長 甲斐 麻記子 氏 係長 頼泉 佑衣 氏			
	9/13 (金)	「自己管理」 <input type="checkbox"/> メンタルヘルス（心の健康管理） <input type="checkbox"/> セルフケア（自己健康管理） <input type="checkbox"/> ストレスとうまくつき合う（提案）	2.0	Officeプラスα 代表 有馬 和江 氏			
	1/15 (水)	「キャリアデザイン」 <input type="checkbox"/> 福祉職員の能力開発の必要性 <input type="checkbox"/> 2年目に取組む行動目標	5.0	社会福祉法人エデンの園 ゼネラルマネージャー 甲斐 さち子 氏			

福祉職員スタートアップ研修（保育、児童）								
008	5/30 (木)	<input type="checkbox"/> 「信頼される職業人であるために～社会人としての心構え～」 <input type="checkbox"/> 学生時代と社会人の違い <input type="checkbox"/> プロ意識を持つ（仕事の實力、仕事観、組織の力） <input type="checkbox"/> コミュニケーションの取り方（価値観、きく（聴・聞・訊）、話すコツ演習） <input type="checkbox"/> 仕事の進め方（指示・命令の受け方、報告・連絡・相談の行い方） <input type="checkbox"/> コンプライアンスの重要性	5.0	接遇マナーインストラクター 長峰 ヒロ子 氏	80	37	159	
	5/31 (金)	<input type="checkbox"/> 「ビジネスマナーの習得」 <input type="checkbox"/> マナーの重要性 -マナーとは、マナーの果たす役割、印象について- <input type="checkbox"/> マナー実践 -あいさつ、言葉づかい、表情、身だしなみ、電話応対 等-	5.0	宮崎太陽銀行 人事部地域人材育成室 室長 甲斐 麻記子 氏 係長 頼泉 佑衣 氏				
	9/20 (金)	<input type="checkbox"/> 「自己管理」 <input type="checkbox"/> メンタルヘルス（心の健康管理） <input type="checkbox"/> セルフケア（自己健康管理） <input type="checkbox"/> ストレスとうまくつき合う（提案）	2.0	Officeプラスα 代表 有馬 和江 氏				
	1/22 (水)	<input type="checkbox"/> 「倫理観の醸成」 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理 <input type="checkbox"/> 利用者の尊厳の保持と権利擁護 <input type="checkbox"/> 福祉職員に求められる行動規範と職業倫理	3.0	社会福祉法人こころ みやこのじょう総合相談支援センター系 センター長 米良 智子 氏				
4 社会福祉事業等従事者研修（初任者研修 19本）								
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース1								
009	8/6 (火)	<input type="checkbox"/> キャリアデザインとセルフマネジメント <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> 対人援助と信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 福祉職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人こころ みやこのじょう総合相談支援センター系 センター長 米良 智子 氏	40	44	88	
	8/7 (水)							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース2								
010	12/19 (木)	<input type="checkbox"/> キャリアデザインとセルフマネジメント <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> 対人援助と信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 福祉職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	Social work らぼ 代表 田畑 寿明 氏	40	36	72	
	12/20 (金)							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース3								
011	10/8 (火)	<input type="checkbox"/> キャリアデザインとセルフマネジメント <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> 対人援助と信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 福祉職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人こころ みやこのじょう総合相談支援センター系 センター長 米良 智子 氏	40	27	54	
	10/9 (水)							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース4								
012	11/7 (木)	<input type="checkbox"/> キャリアデザインとセルフマネジメント <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> 対人援助と信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 福祉職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	一般社団法人宮崎県介護福祉士会 会長 （居宅介護支援事業所あじさい 管理者） 木場 圭一 氏	40	19	38	
	11/8 (金)							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 初任者コース5								
013	12/10 (火)	<input type="checkbox"/> キャリアデザインとセルフマネジメント <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> 対人援助と信頼関係構築 <input type="checkbox"/> 福祉職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	一般社団法人宮崎県介護福祉士会 会長 （居宅介護支援事業所あじさい 管理者） 木場 圭一 氏	40	17	35	
	12/11 (水)							
チーム力を高めるコミュニケーション研修 初任者編								
014	6/26 (水)	<input type="checkbox"/> コミュニケーション力が仕事の成果を生む -コミュニケーションの必要性 -好感、信頼感を高めるコミュニケーション <input type="checkbox"/> “聴き”上手は、伝え上手 -聴き上手になるために -“話す”から“伝える”へ <input type="checkbox"/> 仕事コミュニケーションの実際 -仕事の取り組み方 -「報・連・相」の必要性	5.0	接遇マナーインストラクター・秘書学講師 米岡 光子 氏	80	74	74	

メンタルヘルス研修 初任者編						
015	7/4 (木)	<input type="checkbox"/> ストレスについて知る <input type="checkbox"/> 思考・行動・感情の傾向を知る <input type="checkbox"/> ストレスケアの方法 ーストレス解消法、感情のセルフコントロール、コミュニケーションスキル 他ー <input type="checkbox"/> 事例で考える ーレジリエンスを使った対処法ー	5.0	株式会社宮崎医福サービス ストレスラボ宮崎 主任 田中 史子 氏	80	73 73
メンバーシップ研修 初任者編						
016	9/25 (水)	<input type="checkbox"/> メンバーシップとは <input type="checkbox"/> 組織（チーム）の一員としての心構えと基本姿勢 <input type="checkbox"/> 同僚・先輩職員・上司との関係性の在り方 <input type="checkbox"/> 自己を振り返り、課題を把握する	5.0	宮崎大学 准教授 土屋 有 氏	80	64 64
福祉の基礎知識習得研修						
017	9/10 (火)	<input type="checkbox"/> 社会福祉制度の役割と実践の意義 <input type="checkbox"/> 社会福祉制度の成り立ち <input type="checkbox"/> 社会福祉法の概要 <input type="checkbox"/> 地域共生社会の実現	5.0	九州医療科学大学 准教授 日田 剛 氏	80	75 75
記録の書き方研修（高齢者）						
018	6/11 (火)	<input type="checkbox"/> 「何のために」「誰のために」記録を書くのか <input type="checkbox"/> 基本の記録の書き方と注意点 <input type="checkbox"/> 記録をより良いケアにつなげる視点	4.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 (介護福祉系コンサルティングWELL WA VE 代表) 溝部 一夫 氏（福岡県）	80	60 60
記録の書き方研修（障がい児・者）						
019	7/18 (木)	<input type="checkbox"/> 記録の意義と目的 <input type="checkbox"/> 基本の記録の書き方と注意点 <input type="checkbox"/> サービスの質を保ち、向上させるための記録の活用	5.0	社会福祉法人愛育福祉会 延岡市北部地域基幹相談支援センター 主任相談支援専門員 佐藤 太朗 氏	80	79 79
文章力向上研修（保育、児童）						
020	6/19 (水)	<input type="checkbox"/> 文章を書くことの目的と「読み手」を把握する。 <input type="checkbox"/> 分かりやすい文章を書くためのポイント <input type="checkbox"/> 子どもの姿を「観て」正しく伝えることの重要性	4.0	Eggコミュニケーション 代表 藤田 みよこ 氏（静岡県）	80	52 52
福祉職員のための医学基礎知識研修（大人）						
021	2/5 (水)	<input type="checkbox"/> 高齢者の多くに見られる症状 <input type="checkbox"/> 薬剤の基礎知識 <input type="checkbox"/> 介護職としての観察・支援 <input type="checkbox"/> 医療関係職種との連携	2.5	医療法人社団三友会 理事長 石川 智信 氏	80	82 82
福祉職員のための医学基礎知識研修（子ども）						
022	1/23 (木)	<input type="checkbox"/> 子どもの罹患や薬の基礎知識について	3.0	医療法人よしき会 どんぐりこども診療所 院長 系数 智美 氏	80	41 41
認知症の基本理解研修						
023	12/3 (火)	<input type="checkbox"/> 認知症介護の基本 <input type="checkbox"/> 特徴的な症状（徘徊、妄想、介護への抵抗、暴力・暴言など） と具体的対応や留意点 <input type="checkbox"/> 介護者のストレスを軽減するためのポイント	3.0	株式会社Lotus care company ライブリー サロン波島 生活相談員 甲斐 輝彦 氏	80	92 92
高齢者支援のためのコミュニケーション研修						
024	10/31 (木)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションを行う目的を理解する <input type="checkbox"/> コミュニケーション技術の手法と実践 <input type="checkbox"/> 福祉系専門職として持つべきコミュニケーションの留意点	5.0	社会福祉法人耕和会 迫田病院 古川 拓矢 氏	80	54 54
障がい者支援のためのコミュニケーション研修						
025	11/20 (水)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションと障がい <input type="checkbox"/> 支援に大切な、姿勢や視点と方法 <input type="checkbox"/> 事例で考える	5.0	社会福祉法人高鍋町社会福祉協議会 高鍋町障がい者（児）等基幹相談支援セン ター 主任相談支援専門員 竹原 祐二 氏	80	88 88
支援につなげる障がい理解研修						
026	10/4 (金)	<input type="checkbox"/> 精神障がいの特性や困りごとの理解 <input type="checkbox"/> 症状や行動の背景と捉え方、対応の仕方	2.0	宮崎県精神保健福祉センター (ひきこもり地域支援センター) 所長 直野 慶子 氏	80	93 93
		<input type="checkbox"/> 知的障がい、発達障がいとは <input type="checkbox"/> 症状や行動の背景と捉え方、対応の仕方	2.0	社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団 宮崎市総合発達支援センターおおぞら 小児科医師 重黒木 真由美 氏		

保育者のための保護者支援研修							
027	8/16 (金)	<input type="checkbox"/> 保護者支援とは何かを考える <input type="checkbox"/> 保護者へのまなざしとコミュニケーションのポイント	5.0	宮崎学園短期大学 准教授 久松 尚美 氏	80	77	77
5 社会福祉事業等従事者研修（中堅職員研修 24本）							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース1							
028	8/1 (木) ・ 8/2 (金)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	合同会社恭美 相談サポート音 管理者 末永 恭 氏	40	45	90
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース2							
029	9/11 (水) ・ 9/12 (木)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	ハーモニーライフサポート 代表 増田 登賜隆 氏	40	36	72
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース3							
030	10/1 (火) ・ 10/2 (水)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人浩和会 日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援セ ンター センター長 久光 博之 氏	40	38	76
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース4							
031	10/29 (火) ・ 10/30 (水)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	ハーモニーライフサポート 代表 増田 登賜隆 氏	40	18	36
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース5							
032	11/21 (木) ・ 11/22 (金)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	合同会社恭美 相談サポート音 管理者 末永 恭 氏	40	22	44
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 中堅職員コース6							
033	12/17 (火) ・ 12/18 (水)	<input type="checkbox"/> 中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> チームケアと問題解決－遭遇要因分析－ <input type="checkbox"/> 中堅職員としての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人浩和会 日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援セ ンター センター長 久光 博之 氏	40	16	32
チーム力を高めるコミュニケーション研修 中堅職員編1							
034	6/12 (水)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションセンスをみがく -仕事コミュニケーション -コミュニケーションの手段 <input type="checkbox"/> 共感的コミュニケーション -人とつながる能力 -目の前の相手とつながるために <input type="checkbox"/> 人とつながるコミュニケーションの実際 -注意する、依頼する、説得する -クレームを対応する	5.0	接遇マナーインストラクター・秘書学講師 米岡 光子 氏	80	91	91
チーム力を高めるコミュニケーション研修 中堅職員編2							
035	1/29 (水)	<input type="checkbox"/> コミュニケーションセンスをみがく -仕事コミュニケーション -コミュニケーションの手段 <input type="checkbox"/> 共感的コミュニケーション -人とつながる能力 -目の前の相手とつながるために <input type="checkbox"/> 人とつながるコミュニケーションの実際 -注意する、依頼する、説得する -クレームを対応する	5.0	接遇マナーインストラクター・秘書学講師 米岡 光子 氏	80	78	78

メンタルヘルス研修 中堅職員編 1								
036	6/5 (水)	<input type="checkbox"/> メンタルヘルスの知識 <input type="checkbox"/> ストレスの仕組み <input type="checkbox"/> セルフケアの方法 ー自律神経のバランス、マインドフルネス、レジリエンス 他 <input type="checkbox"/> 事例で考える ーコミュニケーションスキルの向上と心理的安全性ー	5.0	株式会社宮崎医福サービス ストレスラボ宮崎 主任 田中 史子 氏	80	85	85	
メンタルヘルス研修 中堅職員編 2								
037	1/24 (金)	<input type="checkbox"/> メンタルヘルスの知識 <input type="checkbox"/> ストレスの仕組み <input type="checkbox"/> セルフケアの方法 ー自律神経のバランス、マインドフルネス、レジリエンス 他 <input type="checkbox"/> 事例で考える ーコミュニケーションスキルの向上と心理的安全性ー	5.0	株式会社宮崎医福サービス ストレスラボ宮崎 主任 田中 史子 氏	80	62	62	
業務改善のすすめ方研修 中堅職員編 1								
038	11/28 (木)	<input type="checkbox"/> 業務改善の必要性 <input type="checkbox"/> 業務の遂行レベルを考える <input type="checkbox"/> 業務力とコミュニケーション <input type="checkbox"/> PDCAサイクルの効果的活用	5.0	株式会社話し方教育センター 講師 伊丹 明子 氏 (東京都)	80	82	82	
業務改善のすすめ方研修 中堅職員編 2								
039	11/29 (金)	<input type="checkbox"/> 業務改善の必要性 <input type="checkbox"/> 業務の遂行レベルを考える <input type="checkbox"/> 業務力とコミュニケーション <input type="checkbox"/> PDCAサイクルの効果的活用	5.0	株式会社話し方教育センター 講師 伊丹 明子 氏 (東京都)	80	54	54	
課題解決力向上研修 1								
040	7/11 (木)	<input type="checkbox"/> 課題を解決することの重要性 <input type="checkbox"/> 課題解決の手順 ー問題を発見する (問題とは) ー原因を考える (真の原因の特定) ー課題を設定する (問題と課題の違い) ー解決策を考える (実行計画を立てる)	5.0	株式会社フォースコミュニティ 講師 梶 仁 氏 (福岡県)	80	86	86	
課題解決力向上研修 2								
041	7/12 (金)	<input type="checkbox"/> 課題を解決することの重要性 <input type="checkbox"/> 課題解決の手順 ー問題を発見する (問題とは) ー原因を考える (真の原因の特定) ー課題を設定する (問題と課題の違い) ー解決策を考える (実行計画を立てる)	5.0	株式会社フォースコミュニティ 講師 梶 仁 氏 (福岡県)	80	84	84	
メンバーシップ研修 中堅職員編 1								
042	7/24 (水)	<input type="checkbox"/> チームメンバーとしての位置づけと使命を再確認する <input type="checkbox"/> 中堅職員としての基本姿勢を身につける <input type="checkbox"/> 後輩職員・上司との人間関係スキルを身につける <input type="checkbox"/> チームの目標達成と問題解決に向けたスキルを習得する <input type="checkbox"/> 自己を振り返り、課題を把握する	5.0	ハーモニーライフサポート 代表 増田 登賜隆 氏	80	75	75	
メンバーシップ研修 中堅職員編 2								
043	11/14 (木)	<input type="checkbox"/> チームメンバーとしての位置づけと使命を再確認する <input type="checkbox"/> 中堅職員としての基本姿勢を身につける <input type="checkbox"/> 後輩職員・上司との人間関係スキルを身につける <input type="checkbox"/> チームの目標達成と問題解決に向けたスキルを習得する <input type="checkbox"/> 自己を振り返り、課題を把握する	5.0	ハーモニーライフサポート 代表 増田 登賜隆 氏	80	70	70	
後輩に仕事を正しく教えるティーチング研修								
044	6/21 (金)	<input type="checkbox"/> 指導育成の原理原則 <input type="checkbox"/> ティーチングの理解 <input type="checkbox"/> ティーチングで活用するスキル	5.0	株式会社きづくネットワーク 代表取締役 武田 義昭 氏 (福岡県)	80	85	85	
プリセプター研修								
045	1/31 (金)	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの特徴と人材育成の重要性についての理解 <input type="checkbox"/> OJTの基本定義と育成スタイル、プリセプターの役割 <input type="checkbox"/> 自組織の育成に関する現状理解 <input type="checkbox"/> プリセプターとしてのコミュニケーションスキル <input type="checkbox"/> ケースワーク	5.0	株式会社エイテル研究所 人材育成支援部 主任 川崎 理代 氏 (東京都)	80	73	73	
職務を通じて後輩を育てるOJT研修 中堅職員コース								
046	10/24 (木)	<input type="checkbox"/> 職場全体で人材育成に取り組んでいくことの重要性とOJTの意味・すすめ方 <input type="checkbox"/> OJT担当職員の役割について <input type="checkbox"/> OJT実践計画の作成	10.0	関西福祉科学大学 教授 津田 耕一 氏 (大阪府)	50	27	89	
	10/25 (金)							
	12/20 (金)	<input type="checkbox"/> 職場での実践を振り返り、実践計画を改善する <input type="checkbox"/> 職員とのコミュニケーションについて	5.0					

レクリエーション研修 機能向上編						
047	12/4 (水)	<input type="checkbox"/> レクリエーションの効果とポイント <input type="checkbox"/> 手軽にできるレクリエーション	5.0	宮崎県レクリエーション協会 副会長 壹岐 道子 氏	80	77 77
レクリエーション研修 工作・おもちゃ編						
048	9/18 (水)	<input type="checkbox"/> 身近なもので工作を楽しむポイント <input type="checkbox"/> 子どもの心を驚掴み！おもしろ工作	5.0	おもちゃ作家 黒須 和清 氏 (神奈川県)	80	81 81
レクリエーション研修 リズム遊び編						
049	6/28 (金)	<input type="checkbox"/> 「楽力」とは <input type="checkbox"/> 心の扉をノックする！効果的なリズム遊びのポイント	5.0	リズム音楽研究所 主宰 かむら まさはる 氏 (東京都)	80	93 93
排泄ケア研修						
050	2/7 (金)	<input type="checkbox"/> 排便・排尿機能のメカニズム <input type="checkbox"/> 排便・排尿障害のアセスメント <input type="checkbox"/> 排泄ケアにおける多職種連携のあり方	3.0	NPO法人日本コンチネンス協会 九州支部顧問・コンチネンスアドバイザー (有限会社エルム 取締役) 今丸 満美 氏 (福岡県)	80	91 91
子どもの発達研修						
051	6/14 (水)	<input type="checkbox"/> 子どもの人権・権利 <input type="checkbox"/> 不適切な保育とは、子どもの発達に与える影響 <input type="checkbox"/> セルフチェック	3.0	一般社団法人そだち 代表理事 内田 淑佳 氏 (兵庫県)	80	92 92
6 社会福祉事業等従事者研修 (チームリーダー研修 18本)						
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース1						
052	8/20 (火) ・ 8/21 (水)	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> OJTの効果的推進 <input type="checkbox"/> チームリーダーとしての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	Social work らぼ 代表 田畑 寿明 氏	40	24 48
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース2						
053	9/26 (木) ・ 9/27 (金)	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> OJTの効果的推進 <input type="checkbox"/> チームリーダーとしての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人工藤の園 ゼネラルマネージャー 甲斐 さち子 氏	40	24 48
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース3						
054	10/16 (水) ・ 10/17 (木)	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> OJTの効果的推進 <input type="checkbox"/> チームリーダーとしての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人明照福祉会 理事長 吉田 雅憲 氏	40	15 30
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース4						
055	11/12 (火) ・ 11/13 (水)	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> OJTの効果的推進 <input type="checkbox"/> チームリーダーとしての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人明照福祉会 理事長 吉田 雅憲 氏	40	18 36
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 チームリーダーコース5						
056	12/12 (木) ・ 12/13 (金)	<input type="checkbox"/> チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念と倫理、メンバーシップ <input type="checkbox"/> OJTの効果的推進 <input type="checkbox"/> チームリーダーとしての能力開発 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	社会福祉法人工藤の園 ゼネラルマネージャー 甲斐 さち子 氏	40	12 24
チーム力を高めるコミュニケーション研修 チームリーダー編						
057	10/11 (金)	<input type="checkbox"/> 働きやすい職場とは <input type="checkbox"/> コミュニケーションの必要性 <input type="checkbox"/> 部下の育成・指導場面でのコミュニケーション	5.0	株式会社Career Peko 代表取締役 横山 由美 氏	80	83 83
メンタルヘルス研修 チームリーダー編						
058	8/22 (木)	<input type="checkbox"/> メンタルヘルスの基礎知識 <input type="checkbox"/> セルフケアの方法 <input type="checkbox"/> ラインケアの方法 <input type="checkbox"/> メンタル不調者への理解と対応	5.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会 社 専任講師 (福岡工業大学短期大学部 非常勤講師) 山本 素子 氏 (福岡県)	80	77 77

業務改善のすすめ方研修 チームリーダー編							
059	11/27 (水)	<input type="checkbox"/> 業務改善の必要性 <input type="checkbox"/> 業務改善の実現方法（業務改善のステップ） <input type="checkbox"/> 業務改善を頓挫させないために <input type="checkbox"/> さらに業務改善能力を高めるために	5.0	株式会社話し方教育センター 講師 伊丹 明子（東京都）	80	89	89
新規採用者を育成・定着させる為のすすめ方研修							
060	12/5 (木) ・ 12/6 (金)	<input type="checkbox"/> 福祉サービスの特徴と人材育成の重要性についての理解 <input type="checkbox"/> 新規採用者育成体系構築 <input type="checkbox"/> OJTの重要性と基本理解 <input type="checkbox"/> OJTチェックリスト作成ワーク	10.0	株式会社エイテル研究所 人材育成支援部 主任 川崎 理代 氏（東京都）	80	36	75
メンバーシップ研修 チームリーダー編							
061	7/25 (木)	<input type="checkbox"/> 組織（チーム）とは <input type="checkbox"/> メンバーシップの理解 <input type="checkbox"/> リーダーシップとリーダー <input type="checkbox"/> 組織活性化のために	5.0	D-Linxs 代表 池元 正美 氏（鹿児島県）	80	69	69
部下の可能性を引き出すコーチング研修							
062	6/7 (金)	<input type="checkbox"/> コーチングとは何か・なぜ組織が活性化するのか <input type="checkbox"/> コーチ型マネジメントの特徴と使い方 <input type="checkbox"/> コーチングスキルを学ぶ（信頼関係構築、基本スキル） <input type="checkbox"/> コーチングを体験・実践する	5.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 (NPO法人ヘルスコーチ・ジャパン 代表理事) 最上 輝末子 氏（福岡県）	80	87	87
職務を通じて後輩を育てるOJT研修 チームリーダーコース							
063	10/24 (木)	<input type="checkbox"/> 職場全体で人材育成に取り組んでいくことの重要性和OJTの意味・すすめ方	5.0	関西福祉科学大学 教授 津田 耕一 氏（大阪府）	30	39	39
会議のすすめ方 ファシリテーション研修							
064	7/17 (水)	<input type="checkbox"/> 会議を円滑に進めるファシリテーションの基礎的理解 <input type="checkbox"/> ケース会議の進め方 <input type="checkbox"/> ホワイトボード・ミーティング®の模擬実践	5.0	株式会社ひとまち 代表取締役 ちゃんせいこ 氏（大阪府）	80	83	83
介護現場におけるリスクマネジメント研修							
065	11/26 (火)	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントの基礎知識（概説） <input type="checkbox"/> インシデントとアクシデント（ヒューマンエラーとヒヤリハット） <input type="checkbox"/> リスクマネジメントのポイント <input type="checkbox"/> 事例演習（リスクアセスメント・マネジメントの実際） <input type="checkbox"/> リスクマネジメントとチームケア（意識共有と組織風土づくり）	3.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 (介護福祉系コンサルティングWELL WA VE代表) 溝部 一夫 氏（福岡県）	80	89	89
保育の現場における安全管理研修							
066	1/30 (木)	<input type="checkbox"/> 保育の現場におけるリスクマネジメント <input type="checkbox"/> 場面別危険の把握と予防	3.0	NPO法人保育の安全研究・教育センター 代表 掛札 逸美 氏（東京都）	80	82	82
業務継続計画（BCP）研修							
067	1/16 (木)	<input type="checkbox"/> 令和3年度施設運営基準改正におけるBCP研修、訓練の位置づけ <input type="checkbox"/> 一研修、訓練の目的 <input type="checkbox"/> BCP研修実施のポイント <input type="checkbox"/> 一研修の企画、実施、振り返り、改善のポイント <input type="checkbox"/> BCP訓練実施のポイント <input type="checkbox"/> 一訓練の企画、実施、振り返り、改善のポイント <input type="checkbox"/> BCP簡易机上訓練 <input type="checkbox"/> BCM体制の構築・運用について	5.0	MS&ADインターリスク総研株式会社 コンサルタント 高橋 奈々 氏（東京都）	80	78	78
災害対応力強化研修							
068	8/8 (木) ・ 8/9 (金)	<input type="checkbox"/> 社会福祉施設・事業所に求められる役割の理解 <input type="checkbox"/> 一熊本学園大学避難所運営等の例 <input type="checkbox"/> 一福祉版避難所運営ゲーム（HUG） <input type="checkbox"/> 平時からの備えについて考える <input type="checkbox"/> 一自施設・事業所及び周辺地域のアセスメント <input type="checkbox"/> 一災害派遣福祉チーム（DWAT）の取組	10.0	熊本学園大学 教授 黒木 邦弘 氏（熊本県） 宮崎県社会福祉士会 事務局員 柿並 興昌 氏	80	77	155
利用者主体支援研修（高齢、障がい）							
069	11/1 (金)	<input type="checkbox"/> 私たちの「仕事」を考える・・・「社会福祉」とは？ <input type="checkbox"/> 対人援助職者に求められる「基本姿勢」と留意すべき「7つの原則」 <input type="checkbox"/> アセスメントとは何か？・・・対人援助における利用者理解	5.0	兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人 氏（兵庫県）	80	80	80

7 社会福祉事業等従事者研修（管理職員研修 6本）							
福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程 管理職員コース							
070	9/5 (木) ・ 9/6 (金)	<input type="checkbox"/> 管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 <input type="checkbox"/> 福祉サービスの基本理念・倫理の徹底 <input type="checkbox"/> 人材アセスメント <input type="checkbox"/> 管理職員としての能力開発と人材育成 <input type="checkbox"/> 行動指針の策定 <input type="checkbox"/> キャリアデザインシートと行動計画の策定	13.0	和洋女子大学大学院 総合生活研究科 教授 (総合研究機構 機構長) 岸田 宏司 氏 (千葉県)	40	35	71
チーム力を高めるコミュニケーション研修 管理職員編							
071	11/19 (火)	<input type="checkbox"/> 働きやすい職場とは <input type="checkbox"/> コミュニケーションの必要性 <input type="checkbox"/> 部下の育成・指導場面でのコミュニケーション <input type="checkbox"/> 組織（チーム）全体のコミュニケーション	5.0	株式会社Career Peko 代表取締役 横山 由美 氏	80	60	60
メンタルヘルス研修 管理職員編							
072	8/23 (金)	<input type="checkbox"/> 管理職の立場から見るメンタルヘルス <input type="checkbox"/> メンタル不調者に対する関わり方 <input type="checkbox"/> 管理職のメンタルヘルス <input type="checkbox"/> メンタル不調者を出さないための職場づくり <input type="checkbox"/> ラインケア、コミュニケーション	5.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 (福岡工業大学短期大学部 非常勤講師) 山本 素子 氏 (福岡県)	80	53	53
業務改善のすすめ方研修 管理職員編							
073	10/3 (木)	<input type="checkbox"/> DX（デジタルトランスフォーメーション）とは <input type="checkbox"/> DXの定義 <input type="checkbox"/> DXがもたらすメリット <input type="checkbox"/> DXの進め方 <input type="checkbox"/> DX対象業務の発見 <input type="checkbox"/> 推進上の課題 など	5.0	アクティブ・サポート・ネットワーク株式会社 専任講師 (エデュテメント・パートナーズ 代表) 秋満 直人 氏 (福岡県)	80	62	62
職員定着につなげるための評価者育成研修							
074	7/26 (金)	<input type="checkbox"/> 評価の目的と実際 <input type="checkbox"/> 評価面談のポイントと実際 <input type="checkbox"/> 評価結果の活用方法	5.0	D-Linx s 代表 池元 正美 氏 (鹿児島県)	80	64	64
採用活動に活かす福祉広報研修							
075	7/31 (水)	<input type="checkbox"/> 福祉人材確保につなげる広報の在り方 <input type="checkbox"/> 採用ツールの分析・検証を通して法人・事業所の魅力と強みを整理する <input type="checkbox"/> 「伝わる」採用ツール・企画書づくり	5.0	株式会社エイテル研究所 出版・広報企画部 部長 熊谷 耕 氏 (東京都)	80	27	27
8 社会福祉法人役員研修（3本）							
社会福祉法人理事研修							
076	10/23 (水)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人を取り巻く訴訟リスクの実際 <input type="checkbox"/> 健全な経営に向けた理事・評議員の役割と責務	2.0	法律事務所First Penguin 代表弁護士 菅田 正明 氏 (東京都)	90 事業 所	52	52
社会福祉法人評議員研修							
077	10/23 (水)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人を取り巻く訴訟リスクの実際 <input type="checkbox"/> 健全な経営に向けた理事・評議員の役割と責務	2.0	法律事務所First Penguin 代表弁護士 菅田 正明 氏 (東京都)	13	13	
社会福祉法人監事研修							
078	2/6 (木)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人の役割と監事の責務	2.0	宮崎県福祉保健部指導監査・援護課 主幹 加藤 亮介 氏	120	88	88
		<input type="checkbox"/> 適正な会計監査のためのポイント <input type="checkbox"/> 近年における社会福祉法人の経営状況の概要	2.0	税理士法人アイビーパートナーズ 代表社員税理士 飯田 三和 氏			

※No.005は映像配信のため定員・受講者延人数を記載していません。

令和6年度 社会福祉経営支援セミナー事業実績報告（7本）

No.	研 修 名				定員	参加者数
	期日	研修科目	時間	講 師		
(ア) 労務管理コース（4本）						
労務管理研修Ⅰ						
101	6/6 (木)	<input type="checkbox"/> 社会保険・労働保険のあらましと手続上の留意点 <input type="checkbox"/> 新たに従業員を採用したとき <input type="checkbox"/> 退職者などがあつたとき <input type="checkbox"/> 従業員が家族を扶養するとき <input type="checkbox"/> 給与が大幅に変わったとき <input type="checkbox"/> 保険料の計算と納め方 <input type="checkbox"/> 賞与を支給したとき <input type="checkbox"/> 病気・けがをしたとき、療養のため給料が出ないとき <input type="checkbox"/> 社会保険に関する法律改正の動向など	5.0	社会保険労務士法人金丸労務管理事務所 統括主任 江藤 いくみ 氏 上席主任 津嘉山 光子 氏 上席主任 高藤 さつき 氏	50	29
労務管理研修Ⅱ						
102	6/13 (木)	<input type="checkbox"/> 労務管理の基本／押さえておきたい労働関係法のポイント <input type="checkbox"/> 労働基準法の定義 <input type="checkbox"/> 労働契約と解雇・退職 <input type="checkbox"/> 労働条件通知書 <input type="checkbox"/> 賃金 <input type="checkbox"/> 労働時間・休憩・休日、36協定届 <input type="checkbox"/> 年次有給休暇 <input type="checkbox"/> 変形労働時間制 <input type="checkbox"/> 就業規則の作成・届出・変更の義務	5.0	社会保険労務士法人金丸労務管理事務所 統括主任 江藤 いくみ 氏 上席主任 津嘉山 光子 氏 上席主任 高藤 さつき 氏	50	34
労務管理研修Ⅲ						
103	6/20 (木)	<input type="checkbox"/> 就業規則のポイントと運用上の留意点 一令和5年7月に改定された厚生労働省モデル就業規則を参考に— <input type="checkbox"/> 就業規則の内容 絶対的記載事項など <input type="checkbox"/> 就業規則の作成及び変更の手続 <input type="checkbox"/> 就業規則の効力と周知 <input type="checkbox"/> 労働条件を変更するときのルール <input type="checkbox"/> 高齢者の就業機会の確保規定例 <input type="checkbox"/> 就業規則に関する相談事例から	5.0	社会保険労務士法人金丸労務管理事務所 所長 特定社会保険労務士 金丸 憲史 氏	50	29
労務管理研修Ⅳ						
104	6/27 (木)	<input type="checkbox"/> 労働関係法令の概要と相談事例から <input type="checkbox"/> 令和6年に施行される法改正のポイント <input type="checkbox"/> 労働契約の基本ルール <input type="checkbox"/> 過重労働防止とメンタルヘルス対策 <input type="checkbox"/> 高齢者の就業機会の確保 <input type="checkbox"/> ハラスメントの防止措置義務 <input type="checkbox"/> 同一労働同一賃金（パート・有期雇用労働者の場合） <input type="checkbox"/> 仕事と育児・介護の両立支援 <input type="checkbox"/> 上記に伴う相談事例など	5.0	社会保険労務士法人金丸労務管理事務所 所長 特定社会保険労務士 金丸 憲史 氏	50	25
(イ) 財務管理コース（3本）						
会計・財務管理研修 保育コース						
105	7/2 (火)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人会計基準の概要 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人特有の会計の基礎	5.0	税理士法人アイビーパートナーズ 代表社員税理士 飯田 三和 氏 代表社員税理士 海野 理香 氏	30	10
	7/9 (火)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人特有の会計処理、実務のポイント <input type="checkbox"/> 保育事業関係の収益科目・費用科目の説明 <input type="checkbox"/> 保育事業の資金の使途制限について	5.0			
会計・財務管理研修 福祉施設コース						
106	7/2 (火)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人会計基準の概要 <input type="checkbox"/> 社会福祉法人特有の会計の基礎	5.0	税理士法人アイビーパートナーズ 代表社員税理士 飯田 三和 氏 代表社員税理士 海野 理香 氏	30	28
	7/23 (火)	<input type="checkbox"/> 社会福祉法人特有の会計処理、実務のポイント <input type="checkbox"/> 介護事業・障害福祉事業・その他の収益科目・費用科目の説明 <input type="checkbox"/> 介護事業・障害福祉事業・その他の資金の使途制限について	5.0			
会計・財務管理研修 決算実務						
107	2/4 (火)	<input type="checkbox"/> 決算手続きの流れ <input type="checkbox"/> 計算書類及び付属明細書の作成、計算書類の整合性確認 <input type="checkbox"/> 貸借対照表の勘定科目残高確定上の留意点 <input type="checkbox"/> 一年基準適用上の留意点 <input type="checkbox"/> 計算書類の注記事項 <input type="checkbox"/> 財産目録作成上の留意点 <input type="checkbox"/> 資金の使途制限	5.0	税理士法人アイビーパートナーズ 代表社員税理士 飯田 三和 氏 代表社員税理士 海野 理香 氏	50	33

ウ 種別協議会研修
種別協議会において、各種研修を実施しました。

エ 地域密着型サービス外部評価事業

(ア) 外部評価の実施 40事業所

(イ) 評価審査委員会の開催

a 期 日 3月4日(火)

b 参加者数 6名

c 内 容

<報告事項>

- ・令和6年度外部評価事業の実施状況について
- ・令和7年度外部評価事業の実施計画について

5 災害時における福祉支援の充実

(1) 災害に備えた福祉支援体制の整備

市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉法人・福祉施設、ボランティア・NPO等と連携を図り、平時における災害支援体制の充実・強化に取り組みました。

《実施事業》

ア 市町村災害ボランティアセンター運営体制支援事業

(ア) 宮崎県市町村社協連絡協議会災害支援プロジェクトチームとの連携

宮崎県総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練等に災害支援プロジェクトチーム委員を派遣しました。

(イ) 各市町村における災害ボランティアセンター設置運営訓練の支援

各市町村社協における災害ボランティアセンター設置運営訓練や研修等に本会職員を派遣しました。

(ロ) 「災害ボランティアセンターマネジメント研修」への職員派遣

「災害ボランティアセンターマネジメント研修」(全社協モデル：佐賀県社協開催)に市町村社協職員及び本会職員を派遣し、人材育成を図りました。

(ハ) 協働型災害ボランティアセンター運営訓練事業の実施

地域の関係者が主体となって運営する協働型災害ボランティアセンターの運営訓練を実施する市町村社協に助成し、市町村域での災害復興の推進力強化を図りました。

a 実施社協 日向市社協

(ニ) 宮崎県総合防災訓練における災害ボランティアセンター設置運営訓練

a 期 日 11月4日(月)

b 場 所 国富町中央コミュニティセンター(アリーナくにとみ)

c 参加者 58名

イ 災害支援リーダー育成事業

災害ボランティアセンター運営者に必要な視点を学ぶとともに、災害支援で求められるより実践に即した高度なスキルの習得を目指し、県内市町村社協のリーダー的役割を担う人材を育成することにより、県内における災害支援体制の整備

を図ることを目的に実施しました。

(ア) 第1回

- a 期 日 6月18日(火)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館4階 大研修室
- c 参加者 社協職員28名
- d 内 容
 - (a) 講義「社協が災害VCを設置する意義と災害VC運営の実際」
～能登半島地震での被災地支援をとおして～
講師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏
 - (b) 意見交換①「災害時における社協の役割と連携について」
 - (c) 意見交換②「市町村社協実践計画書作成に向けて」

(イ) 被災地視察

- a 期 日 7月4日(木)、5日(金)
- b 場 所 八代市地域支え合いセンター 他
- c 参加者 9名(市町村社協職員：7名、県社協：2名)
- d 内 容
 - (a) 1日目
 - ①聴講
行政：八代市 健康福祉部健康福祉政策課政策係 主任 上田 信一 氏
社協：八代市社会福祉協議会 地域福祉課地域福祉係長 松山 弥史 氏
社協：八代市社協 地域福祉係(八代市地域支え合いセンター)
主任 本明 宣理子 氏
ボランティア団体：球磨川アドベンチャーズ 松田 浩典 氏
地域住民：最所 弘子 氏
 - ②意見交換
 - (b) 2日目
八代市坂本町視察

(ウ) 第2回

- a 期 日 10月9日(水)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館3階 中研修室
- c 参加者 行政職員15名 社協職員25名
- d 内 容
 - (a) 導入講義「行政・社協が連携して取り組む災害支援の展開に向けて」
講師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏
 - (b) 報告「令和6年度能登半島地震被災地支援報告会」
報告者 延岡市社会福祉協議会 主事 山田 昇吾 氏
木城町社会福祉協議会 係長 西村 拓 氏
 - (c) 報告「被災地視察報告(八代市)」
報告者 日南市社会福祉協議会 課長補佐兼係長 内田 貴明 氏
- e その他(同日開催)
 - (a) 社協・ライオンズクラブ災害支援定例会議

(エ) 第3回

- a 期 日 2月4日(火)
- b 場 所 宮崎県福祉総合センター 人材研修館4階 大研修室

c 参加者 社協職員25名

d 内 容

(a) 講義

「被災地に寄り添い続ける災害ボランティアセンター運営を考える」

講師 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

(b) 報告「令和6年度協働型災害ボランティアセンター運営訓練」

報告者 日向市社会福祉協議会 主事 藤田 あやめ 氏

コーディネーター 日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

(c) 市町村社協実践報告及び意見交換

(d) まとめ

日野ボランティア・ネットワーク 山下 弘彦 氏

e その他（同日開催）

(a) 社協・日本青年会議所九州地区宮崎ブロック協議会災害支援定例会議

ウ 災害ボランティア活動連携体制強化事業

(ア) 「宮崎県・県社協・NPO 防災会議」への参画

a 第1回

(a) 期 日 6月28日（金）

(b) 会 場 県庁本館3階 総合政策部会議室

(c) 内 容

①令和6年度取組の方針について

②令和6年度の会議等スケジュールについて

③設置要綱の改正について

b 第2回

(a) 期 日 3月27日（木）

(b) 会 場 県庁本館3階 総合政策部会議室

(c) 内 容

①令和6年度活動報告

②各構成員からの報告

(イ) 「『防災とボランティアの日』に被災者支援を考える」（「災害時の連携を考えるフォーラム」）（県・県社協・NPO 防災会議）

a 第1部

(a) 期 日 1月17日（金）

(b) 会 場 宮崎県庁防災庁舎 防72・73

(c) 内 容

①導入講義「災害時の被災者支援とは」

講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）

事務局長 明城 徹也 氏

②報告「能登半島での被災者支援事例」

報告者 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）

事業部リーダー 神元 幸津江 氏

報告者 一般社団法人ピースボート災害支援センター

理事・事務局長 上島 安裕 氏

報告者 特定非営利法人宮崎文化本舗 理事長 石田 達也 氏

③パネルディスカッション「能登半島地震での被災者支援の課題から宮崎県でこれから考えるべきこと」

【パネリスト】

- ・全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
事業部リーダー 神元 幸津江 氏
- ・一般社団法人ピースボート災害支援センター
理事・事務局長 上島 安裕 氏
- ・特定非営利活動法人宮崎文化本舗 理事長 石田 達也 氏
- ・宮崎県総合政策部 生活・協働・男女参画課
主幹 瀬戸山 利一 氏
- ・宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部長 栗野 晃成

【司会】

みやざきNPO・協働支援センター センター長 名田 敬仁 氏

a 第2部（被災者支援コーディネーター育成研修）

- (a) 期 日 1月18日（土）
- (b) 会 場 みやざきNPO・協働支援センター
- (c) 内 容

- ①講義「被災者支援コーディネーション（調整）とは何か」
講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
プログラムコーディネーター 柴田 裕子 氏
- ②講義「災害中間支援組織について」
講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
プログラムコーディネーター 柴田 裕子 氏
- ③講義「被災者支援コーディネーションの具体的な活動を知る」
講師 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
事務局長 明城 徹也 氏
- ④事例「宮崎における竜巻による被害」
特定非営利活動法人宮崎文化本舗 理事長 石田 達也 氏
- ⑤演習「状況判断」（全体セッション）
- ⑥演習「フェーズごとの課題・連携先」

エ 社会福祉法人の災害発生に備えた取組の支援

- (ア) 社会福祉法人における事業継続活動の支援
各種別協議会において、事業継続計画（BCP）の策定や計画の再確認を進める研修等を実施しました。
- (イ) 社会福祉施設等災害時相互応援協定の運用面の充実
各種別協議会において相互応援協定の内容を確認し、運用面の充実に向け、確認を行いました。

オ 災害福祉支援ネットワーク構築に向けた協力

災害福祉支援ネットワーク会議への参画や災害派遣福祉チーム（DWAT）の養成研修への参加促進を行いました。

(2) 災害時における福祉支援活動の推進

市町村社協や社会福祉施設等とのネットワークを活かし、災害時相互応援協定に基づき、県の関係部局をはじめ、九州各県・指定都市社協、全社協、NPO法人等、多様な関係機関・団体と連携して災害時における福祉支援活動を行いました。

《実施事業》

ア 宮崎県・市町村社協災害時相互応援協定に基づく支援

(ア) 本会と市町村社協の緊急連絡、被災状況の早期把握

a 日向灘を震源とする地震（8月）

発災後、日南市社協を訪問し、被害状況や災害ボランティアセンター設置の有無の確認、ニーズ調査への同行等を行いました。なお、日南市社協では、瓦礫等のごみの運び出しや片付け等の地域住民からのニーズに対して、通常のボランティアセンターで対応しており、本会では、継続的に状況確認等を行いました。

b 台風10号【大雨、暴風及び竜巻による突風被害】（8月）

各市町村社協に対する被害状況確認（FAX等）を行うとともに、竜巻による被害が発生した宮崎市社協を訪問し、被害状況（現地視察）や災害ボランティアセンター設置の有無の確認等を行いました。なお、宮崎市社協では、瓦礫の撤去や家財道具の運び出し等の地域住民からのニーズに対し、通常のボランティアセンターで対応しており、本会では継続的に状況確認等を行いました。

c 令和6年10月21日（月）からの大雨による被害

被害（土砂崩れ等）があった延岡市社協、日南市社協、串間市社協、都農町社協に対し、電話による被害状況の確認を行いました。特に、延岡市社協においては、泥出しや家財の運び出し等の地域住民からのニーズに対し、通常のボランティアセンターで対応しており、本会では、ボランティア活動保険の特例適用の手続きとともに、継続的に状況確認等を行いました。

イ 宮崎県社会福祉施設等災害時相互応援協定等に基づく支援

8月に発生した日向灘を震源とする地震をはじめ、大雨等の際には被害状況調査を行い、会員施設の被害状況の把握に努めました。

ウ 多様な関係機関・団体等と連携した被災地支援

(ア) 社協職員の被災地への派遣に伴う調整

令和6年1月に発生した能登半島地震及び9月の能登半島豪雨に伴い、全社協から九州各県・指定都市社協へ職員の派遣依頼があったことを受け、災害ボランティアセンターの設置・運営に関する支援を行いました。

a 災害ボランティアセンター運営支援業務

(a) 派遣期間 4月16日（火）から12月10日（火）まで

(b) 派遣場所 石川県珠洲市

(c) 派遣者数 36名（県社協職員2名、市町村社協職員34名）

(イ) 社会福祉施設職員の被災地への派遣に伴う調整

能登半島地震関連では、老人福祉サービス協議会において、社会福祉施設等に対する介護職員等の派遣協力依頼を行いました。（県長寿介護課～12月まで）

また、全国経営協九州ブロック事務局として、前年度3月に派遣調整を行

い、4月1日から5月4日の期間中に22名が派遣されました。

6 宮崎県社会福祉協議会の基盤強化

(1) 組織基盤の強化

適正な法人経営のため、法律、税務、労務の専門家（顧問弁護士・税理士・社会保険労務士）や会計監査人の参画を得て法令遵守等の充実に努めるとともに、内部管理体制の一環として内部監査を実施しました。

また、Web環境の積極的な活用をすすめるとともに、大規模な自然災害の発生などの緊急事態への初期対応や業務を継続できる基盤整備を図るため、事業継続計画（BCP）研修を実施しました。

《実施事業》

ア 適正な法人経営の遂行

(ア) 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催、監事監査の実施

a 理事会

<第1回>

- | | |
|----------|----------------------------|
| (a) 期 日 | 6月7日（金） |
| (b) 場 所 | 宮崎県福祉総合センター |
| (c) 出席者数 | 13名（理事11名、監事2名） |
| (d) 報告事項 | 職務執行状況報告について |
| (e) 議 題 | 令和6年度宮崎県社会福祉協議会事務局体制について |
| | 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について |
| | 第2号議案 評議員候補者の選定について |
| | 第3号議案 理事及び監事候補者の選定について |
| | 第4号議案 評議員専任・解任委員会委員の選任について |
| | 第5号議案 苦情解決第三者評価委員の選考について |
| | 第6号議案 会計監査人の報酬について |
| | 第7号議案 役員等賠償責任保険契約について |
| | 第8号議案 評議員会の招集について |

<第2回>

- | | |
|-----------|----------------------------|
| (a) 方 法 | 決議の省略 |
| (b) 決 議 日 | 10月31日（木） |
| (c) 議 題 | 第1号議案 評議員候補者の選定について |
| | 第2号議案 評議員選任・解任委員会委員の選任について |

<第3回>

- | | |
|----------|---------------------------------|
| (a) 期 日 | 3月18日（火） |
| (b) 場 所 | 宮崎県福祉総合センター |
| (c) 出席者数 | 12名（理事10名、監事2名） |
| (d) 報告事項 | 職務執行状況報告について |
| (e) 議 題 | 第1号議案 令和6年度収支補正予算（案）について |
| | 第2号議案 令和7年度事業計画（案）及び収支予算（案）について |
| | 第3号議案 評議員候補者の選定について |

- 第4号議案 各種規程の一部改正について
- 第5号議案 役員等賠償責任保険契約について
- 第6号議案 評議員会の招集について

b 評議員会

<第1回>

- (a) 期 日 6月25日(火)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 23名(評議員19名、理事2名、監事2名)
- (d) 議 題 第1号議案 令和5年度事業報告及び決算について
第2号議案 理事及び監事の選任について
- (e) 報告事項 役員等賠償責任保険契約について
評議員選任・解任委員会における評議員の選任結果について
令和6年度宮崎県社会福祉協議会事務局体制について

<第2回>

- (a) 期 日 3月26日(水)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 24名(評議員20名、理事2名、監事2名)
- (d) 議 題 第1号議案 令和6年度収支補正予算(案)について
第2号議案 令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)
について
第3号議案 「役員及び評議員の報酬並びに費用弁償に関する規程」の一部改正について

c 評議員選任・解任委員会

<第1回>

- (a) 期 日 6月10日(月)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 5名(評議員選任・解任委員会委員5名)
- (d) 議 題 第1号議案 評議員の選任について

<第2回>

- (a) 期 日 11月25日(月)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 5名(評議員選任・解任委員会委員5名)
- (d) 議 題 第1号議案 評議員の選任について

<第3回>

- (a) 期 日 3月21日(金)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 5名(評議員選任・解任委員会委員5名)
- (d) 議 題 第1号議案 評議員の選任について

d 監事監査

- (a) 期 日 5月27日(月)
- (b) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (c) 出席者数 監事2名
- (d) 監査事項 令和5年度事業報告及び決算について

(イ) 外部専門家の活用（弁護士・社会保険労務士・税理士・産業医）

弁護士、税理士、社会保険労務士との顧問契約を継続し、高度化する課題等について助言指導を受け、改善等に努めました。さらには、顧問税理士による巡回監査を毎月実施し、専門的な会計指導を受け、財務会計処理の適正化に努めるとともに、ストレスチェックの実施をはじめ、職員からの健康管理等の相談に毎月対応する等、産業医による職員の労働安全衛生体制の充実に取り組みました。

(ウ) 会計監査人の活用及び内部管理体制の整備・実施

会計監査人による監査等を通して財務会計処理の適正化を図るとともに、内部監査を実施し、内部管理体制の充実に努めました。

イ 会員制度の充実

本会事業の趣旨に御賛同いただいた110団体・名（企業等81会員、社会福祉法人20会員、個人9会員）に御加入いただきました。

賛助会員名簿

◆特別賛助会員（企業等）：81会員 *順不同

【新規】株式会社 CLEAR	株式会社ニューウェルシティ宮崎
【新規】小谷野税理士法人	株式会社アド・プラス
【新規】株式会社ゼロアクセル	株式会社讀賣宮崎広告社
【新規】王神財団	株式会社宮崎県ソフトウェアセンター
【新規】株式会社 Q.E.D パートナーズ	東武トップツアーズ株式会社宮崎支店
【新規】ACRIUS 合同会社	株式会社セキュリティロード
【新規】株式会社 LIGNEA	有限会社クボタオフィスマシン
宮崎瓦斯株式会社	一般社団法人生命保険協会
株式会社興電舎	株式会社白陽
株式会社宮崎銀行	株式会社水永水産
延岡信用金庫	学校法人順正学園九州医療科学大学
学校法人東洋学園宮崎医療管理専門学校	株式会社響
公益社団法人宮崎県医師会	宮崎電子機器株式会社
有限会社あゆみタイプ社	新日本法規出版株式会社
高鍋信用金庫	学校法人都城コア学園
一般社団法人宮崎県建設業協会	NPO法人ネットワーク福祉会
株式会社星光商会	株式会社カクイックスウィング
大和開発株式会社	株式会社宮崎新生社印刷
岩切商事株式会社	企業組合ライオン堂
株式会社宮崎太陽銀行	有限会社亜細亜観光
株式会社宮崎山形屋	株式会社エイド宮崎
宮崎トヨタ自動車株式会社	特定非営利活動法人宮崎県中途失聴難聴者協会
医療法人真愛会高宮病院	株式会社都城印刷
旭化成株式会社延岡支社	向陽プラントサービス（株）
更生保護法人宮崎県更生保護協会	株式会社明光社
宮崎県済生会日向病院	戸高コーポレーション
一般社団法人宮崎県歯科医師会	伊勢化学工業（株）宮崎工場

宮崎県経営者協会	東洋羽毛九州販売株式会社
県肢体不自由児者父母の会連合会	株式会社丸祐運送
株式会社日光製作所	(株) cielo azul
一般財団法人宮崎県ひとり親福祉連合会	株式会社アルビノ
宮崎県中小企業団体中央会	SMBC 日興証券株式会社宮崎支店
一般社団法人宮崎県身体障害者団体連合会	株式会社デンサン
一般社団法人宮崎県商工会議所連合会	株式会社ナゴウェブ
名鉄観光サービス株式会社宮崎支店	株式会社マイクロミニスター
一般社団法人宮崎県手をつなぐ育成会	株式会社ジャストイット
宮崎県火災共済協同組合	ペーパードライバー講習合同会社
株式会社トータル保険サービス	株式会社キューブコンサルティング
株式会社池部医療器	アクティブ情報システム株式会社
リコージャパン株式会社宮崎支社	株式会社ニトリ法人&リフォーム事業部福岡
有限会社あじさいギフト	

◆特別賛助会員（社会福祉法人）：20会員 *順不同

社会福祉法人宮崎県社会福祉事業団	社会福祉法人常緑会星空の都なかごう
社会福祉法人宮日母子福祉事業団	社会福祉法人幸寿会幸寿園
社会福祉法人ひまわり会永寿園	社会福祉法人善仁会愛生園
社会福祉法人清風会若宮荘	社会福祉法人巴会わかば園
社会福祉法人川水流福祉会ひえいの郷	社会福祉法人大島振興協会
社会福祉法人黒潮会寿楽園	社会福祉法人春生会くども児友園
社会福祉法人愛泉会河鹿の里	社会福祉法人かしのき福祉会どんぐり保育園
社会福祉法人信愛会裕生園	社会福祉法人仁愛会
社会福祉法人清和会新納荘	社会福祉法人望洋会あゆみの里
社会福祉法人日向更生センター皇寿園	社会福祉法人つよし会

◆一般賛助会員（個人）：9会員 ※順不同

【新規】木島 由香 (様)	【新規】木島 壽子 (様)	大藤 精一郎 (様)
廣渡 良樹 (様)	山崎 睦男 (様)	高橋 博 (様)
吉田 寿生 (様)	川野 美奈子 (様)	毛利 博樹 (様)

ウ 職員育成の推進

- (ア) 目標管理制度の実施
- (イ) 職員研修の実施（職場研修、職場外研修への派遣）

エ 種別協議会会長会議の開催

- (ア) 期 日 6月7日（金）
- (イ) 場 所 宮崎県福祉総合センター
- (ウ) 内 容 令和7年度社会福祉関係予算・政策要望について

オ 社会福祉政策・予算確保対策活動事業

本会種別協議会、関係機関・団体から社会福祉関係予算や制度改善に向けた要望を取りまとめ、県知事及び県議会議長に要望書を提出しました。

カ 宮崎県社会福祉大会開催事業

- (ア) 期 日 11月12日(火)
- (イ) 場 所 宮崎観光ホテル東館3階 緋碧耀
- (ウ) 参加者数 受賞者、社会福祉関係者 約280名
- (エ) 内 容
 - a 式典
 - b 顕彰
 - c 講演 「地域共生社会の実現を目指したコミュニティづくり」
講師 鹿児島大学法文学部法経社会学科准教授 金子 満 氏

キ 顕彰・表彰事業

本会会長表彰の審査決定及び関係機関・団体等が行う各種顕彰・表彰の推薦を行いました。

ク 宮崎県社会福祉協議会機関紙「C o m f o r t」発行事業

年4回(5月、8月、11月、2月)、各1,400部を発行し、市町村社協、社会福祉施設等関係団体等へ配布しました。

ケ ホームページ等運営事業

迅速かつ有益な情報発信に努めました。

コ 各種社会福祉週間・月間等の広報・啓発

各種社会福祉関係週間について、実施要領等を市町村社協、社会福祉施設等に送付し、広報啓発活動を実施しました。

- (ア) 児童福祉週間(5月)
- (イ) 老人の日・老人週間(9月)

サ 局内LANネットワーク管理事業

PC、サーバ等の機器及びネットワーク管理の充実に努めました。

シ 第6次宮崎県社会福祉協議会活動推進計画の管理

第6次宮崎県社会福祉協議会活動推進計画の内容に沿った事業展開を図りました。

ス 事業継続計画(BCP)定着のための取組

事業継続計画(BCP)研修を開催し、事業継続計画の円滑な実施に向けて課題の整理や意見交換を行いました。

また、災害時の想定した安否確認及び情報共有に関する訓練を4月と12月に実施しました。

セ 業務効率化や経費削減に向けたデジタル化の推進

業務効率化及びデジタル化が必要と思われる業務等について、各部署にアンケート調査を実施し、意見交換を行ったとともに、優先して取り組むべき課題について業務効率化やデジタル化を図りました。

(2) 財政基盤の強化

各種事業の推進に当たり、公的財源を主としながら、収益事業等による自主財源の確保を図るとともに、法人運営事務費のコスト削減に努めました。

《実施事業》

ア 安定的財源の確保

主要財源である公的財源（県からの補助・受託金）は、事業の見直し等による増減はあったものの、従前の水準を確保することができました。

自主財源等として、引き続き、資金運用や会費収入、広告料収入、公益事業及び収益事業からの繰入金収入等の確保に努め、一定の収入を得ることができました。

イ 業務の効率化とコスト管理

コスト削減の観点から、事務諸経費や時間外労働の削減等に努めました。